



# 阿南市立新図書館基本計画

令和5年10月  
阿南市教育委員会



# 目次

計画策定の趣旨 .....	1
第1章 前提条件の整理 .....	2
1 市立図書館および市の概要 .....	2
(1) 市立図書館の概況 .....	2
(2) 市の概要・施策の方向性 .....	9
2 市民意向 .....	14
(1) 阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート調査結果 .....	14
(2) 市民ワークショップ結果 .....	18
(3) 高専生ワークショップ結果 .....	22
(4) 関係団体等ヒアリング結果 .....	24
3 市立図書館が抱える課題 .....	26
(1) 市民の多様な学習ニーズへの対応 .....	26
(2) 市域全体における図書館サービスへのアクセスの改善 .....	26
(3) 市民の読書や学びを支える場の充実 .....	27
(4) 地域課題の解決や駅周辺エリアのにぎわい創出への貢献 .....	27
第2章 新図書館のあり方 .....	28
1 新図書館の位置づけ .....	28
2 基本理念・基本方針 .....	29
(1) 基本理念 .....	29
(2) 基本方針 .....	29
第3章 新図書館の具体的な機能・サービス .....	31
1 サービス計画 .....	31
(1) 市民が生涯にわたり自ら学ぶことを支える .....	31
(2) 市内の読書推進活動や学びを支えるネットワークを広げる .....	32
(3) 市民の多様な利用ニーズに応える場を提供する .....	33
(4) 出会い・交流・創造の場となりまちの魅力づくりに貢献する .....	34
サービス計画の実現に向けた運営体制づくり .....	36
2 資料収集計画 .....	37
(1) 重点的に収集する資料 .....	37
(2) 蔵書規模目標等 .....	38
3 施設整備計画 .....	39
(1) 基本方針 .....	39
(2) 必要諸室および面積の設定等 .....	40
(3) 諸室の配置の考え方 .....	42
巻末資料 .....	43
1 阿南市立新図書館基本計画検討会議開催要綱 .....	43
2 阿南市立新図書館基本計画検討会議 構成員名簿 .....	44
3 策定経緯 .....	45



### IFLA－UNESCO 公共図書館宣言 2022（前文の一部抜粋）

社会と個人の自由、繁栄および発展は、人間にとっての基本的な価値である。このことは、十分に情報を得ている市民が、その民主的権利を行使し、社会において積極的な役割を果たす能力によって、はじめて達成される。建設的に参加して民主主事を発展させることは、十分な教育が受けられ、知識、思想、文化および情報に自由かつ無制限に接し得るにかかっている。

地域において知識を得る窓口である公共図書館は、個人および社会集団の生涯学習、独自の意思決定および文化的発展のための基本的条件を提供する。それは、商業的、技術的、あるいは法的な障壁に妨げられることなく、科学や地域に関する知識をはじめとする、あらゆる種類の知識へのアクセスを提供し、知識の生産を可能にし、かつ共有することによって、健全な知識社会を支える。

図書館は、どの国においても、とりわけ開発途上国において、教育を受ける権利、および知識社会や地域の文化生活へ参加する権利をできるだけ多くの人が享受しうよう支援する。

#### 関連する SDGs



## 計画策定の趣旨

昭和56年に開館した阿南市立阿南図書館は、本市の中心部に位置し、市の中央館としての役割を担ってきましたが、建築から40年以上が経過したことによる老朽化と耐震強度不足から、令和3年4月より一般利用を休止しました。それにもない、本市は市役所2階に図書館カウンターを開設し、予約本の受け取りや返却といった窓口サービスを提供していますが、市の中心部における図書館機能は制限された状態が続いています。

また、本市では近年阿南駅周辺市街地の空洞化が進行し、中心拠点としての機能低下が危惧されており、さらに、老朽化・耐震強度不足により阿南市市民会館も廃止し、解体・除去することとしています。

こうした状況のなか、本市は令和4年3月に、市民会館の解体跡地を含む公共空間の有効活用と駅周辺のにぎわい創出を目指す「阿南駅周辺まちづくりビジョン」(以下、「ビジョン」という。)を策定し、まちづくりのコンセプトと基本方針、そして図書館をまちづくりのコア機能の1つと位置づけること等を示しました。

以上の経緯を踏まえ、市の中心部に整備する、これからの阿南市にふさわしい新たな図書館の姿を明らかにすることを目指し、本計画を策定します。

# 第1章 前提条件の整理

## 1 市立図書館および市の概要

### (1) 市立図書館の概況

#### 1) 施設概要

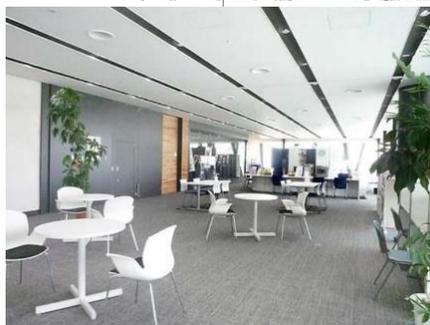
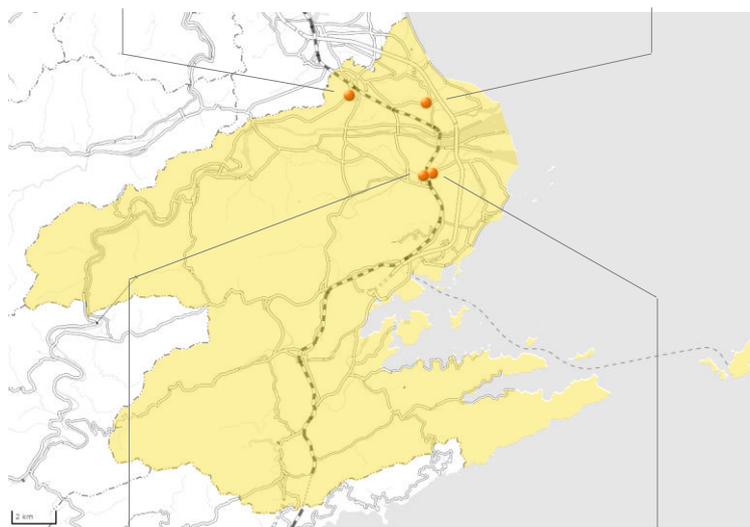
平成 18 年の市町村合併以降、阿南市立図書館は阿南図書館・那賀川図書館・羽ノ浦図書館の3館によりサービスを展開してきましたが、阿南図書館は耐震強度不足のため令和3年4月11日をもって一般利用を休止し、令和5年度より蔵書の移動と建物の除却に向けた検討を始めています。阿南図書館の一般利用休止に伴い、市役所2階市民交流ロビーに図書館カウンターを設置し、現在は2館と1サービスポイント(サービスの提供場所)でサービスを提供しています。



羽ノ浦図書館



那賀川図書館



図書館カウンター（市役所内）



阿南図書館（一般利用休止）

図 1-1 施設配置図

※ 国土地理院地図 Vector(<https://maps.gsi.go.jp/vector/>)を加工し作成

図書館施設はいずれも市内北部の都市部に集中して立地しており、市の西部から南部にかけては、移動図書館車によりサービスを提供しています。

那賀川図書館と羽ノ浦図書館はそれぞれ建築から 25 年以上が経ち老朽化が進みつつあるほか、個人で読書や学習に集中できるスペースやグループ等で多様な利用が可能なスペース、小さな子ども連れでも他の利用者に気兼ねなく利用できる環境、落ち着いた相談できるレファレンスカウンター<sup>1</sup>等が十分ではない状況です。

表 1-1 施設概要

施設名	那賀川図書館	羽ノ浦図書館 (市情報文化センター内)	図書館カウンター (市役所内)	阿南図書館 (一般利用休止)
建築(設置)年月	平成6年3月	平成7年3月	令和3年4月	昭和 55年 12 月
延床面積(㎡)	1,795	732	—	1,549
収容可能冊数 (冊) (蔵書冊数(冊) <sup>2</sup> )	120,000 (200,750)	70,000 (116,872)	—	100,000 (49,020)
諸室構成	閲覧室(一般・児童) 視聴覚室・会議室 市民ギャラリー 事務室・書庫 移動図書館車庫	閲覧室(一般・児童) 展示室(児島コレクション) 事務室・書庫	閲覧席・展示本コーナー 新聞・雑誌コーナー (土日のみ市役所会議室2部屋を学習室(14席)として開放)	1F 閲覧室 (一般・児童) 事務室 2F 参考閲覧室 書庫・研修室 会議室 3F 視聴覚室 等
座席数(席)	106	100	16	40
利用者用駐車場 台数(台)	87	250 (施設共用)	120 (市役所共用)	43
開館時間	10~18時	10~18時	9~18時 (土日は17時まで)	一般利用休止
休館日	月曜日・年末年始			—
	祝日・月末整理日・ 特別整理期間	祝日の翌火曜日・ 月末整理日・ 特別整理期間	祝日	
職員数 (令和5年度)	館長(常勤)1名 図書館職員5名 会計年度任用職員 6名 計12名 (うち司書資格有7名)	館長(兼務) 図書館職員3名 会計年度任用職員 3名 計6名 (うち司書資格有4名)	図書館職員2名 会計年度任用職員 2名 計4名 (うち司書資格有2名)	館長(兼務)

<sup>1</sup> 図書館資料を使って調べものや資料・情報探しのお手伝いをするレファレンスサービスのためのカウンター

<sup>2</sup> 蔵書冊数は令和5年3月31日時点の数値

## 2) 蔵書

現在の市立図書館全体の蔵書数は、那賀川図書館約 20 万冊、羽ノ浦図書館約 12 万冊、阿南図書館約5万冊の計約 37 万冊となっています。令和元年度まで、市内3館のいずれも蔵書数が収容可能冊数を超過した状態が続いており、阿南図書館が一般利用休止となることとともない令和2、3年度に大きく除籍を行ったものの、阿南図書館の蔵書の一部を移動したことから、現在は那賀川図書館、羽ノ浦図書館ともに蔵書数が収容可能冊数を大幅に超過しています。

全体の構成は一般書約 69%、児童書約 31%で、3館は比較的近似した蔵書構成となっています。合併前はそれぞれが独立した図書館であったことから、3館とも分類別蔵書構成に大きな差は見られません。

特徴的な所蔵資料として、各館でマンガを提供しているほか、那賀川図書館では絵画を所蔵・提供しています。また、平成 30 年4月からは電子図書館サービスを開始し、電子図書も提供しています。

表 1-2 蔵書数の推移(過去5年間)

項目	館名	種別	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			冊数(冊)	構成比									
蔵書	那賀川図書館	小計	168,804	100.0%	171,316	100.0%	173,002	100.0%	197,113	100.0%	200,750	100.0%	
		一般	115,865	68.6%	117,702	68.7%	118,517	68.5%	136,967	69.5%	139,288	69.4%	
		児童	52,939	31.4%	53,614	31.3%	54,485	31.5%	60,146	30.5%	61,462	30.6%	
	羽ノ浦図書館	小計	104,764	100.0%	107,113	100.0%	106,484	100.0%	116,513	100.0%	116,872	100.0%	
		一般	69,441	66.3%	70,934	66.2%	71,810	67.4%	79,557	68.3%	78,565	67.2%	
		児童	35,323	33.7%	36,179	33.8%	34,674	32.6%	36,956	31.7%	38,307	32.8%	
	阿南図書館	小計	128,021	100.0%	126,843	100.0%	114,345	100.0%	50,173	100.0%	49,020	100.0%	
		一般	91,713	71.6%	89,783	70.8%	81,713	71.5%	36,087	71.9%	35,305	72.0%	
		児童	36,308	28.4%	37,060	29.2%	32,632	28.5%	14,086	28.1%	13,715	28.0%	
	合計	小計	401,589	100.0%	405,272	100.0%	393,831	100.0%	363,799	100.0%	366,642	100.0%	
		一般	277,019	69.0%	278,419	68.7%	272,040	69.1%	252,611	69.4%	253,158	69.0%	
		児童	124,570	31.0%	126,853	31.3%	121,791	30.9%	111,188	30.6%	113,484	31.0%	
	項目			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受入	合計		9,610		9,298		8,562		7,845		7,775	
		購入		7,915		7,542		7,726		7,257		7,068	
寄贈		1,695		1,756		836		588		707			
除籍			2,268		5,618		20,003		37,878		4,932		

※ 種別「一般」にはマンガ、外国語図書、大活字本を含む。「児童」は絵本、紙芝居、児童図書の合計

※ 数値は各年度末時点

表 1-3 分類別蔵書数

区分	3館合計	館別						
		那賀川図書館		羽ノ浦図書館		阿南図書館		
		蔵書数	比率	蔵書数	比率	蔵書数	比率	
図書	0総記	7,976	4,453	2.2%	1,908	1.6%	1,615	3.3%
	1哲学	10,047	5,183	2.6%	3,522	3.0%	1,342	2.7%
	2歴史地理	19,113	10,502	5.2%	5,689	4.9%	2,922	6.0%
	3社会科学	35,879	20,370	10.1%	9,038	7.7%	6,471	13.2%
	4自然科学	16,956	10,078	5.0%	4,837	4.1%	2,041	4.2%
	5工業	19,735	11,055	5.5%	6,449	5.5%	2,231	4.6%
	6産業	7,168	4,196	2.1%	2,018	1.7%	954	1.9%
	7芸術	17,450	9,921	4.9%	4,789	4.1%	2,740	5.6%
	8言語	3,502	1,892	0.9%	998	0.9%	612	1.2%
	9文学	100,287	54,522	27.2%	31,799	27.2%	13,966	28.5%
	絵本	38,941	19,301	9.6%	14,530	12.4%	5,110	10.4%
	紙芝居	3,349	1,660	0.8%	843	0.7%	846	1.7%
	マンガ	13,167	5,695	2.8%	7,103	6.1%	369	0.8%
	児童図書	71,194	40,501	20.2%	22,934	19.6%	7,759	15.8%
	外国語図書	657	507	0.3%	124	0.1%	26	0.1%
	大活字本	1,221	914	0.5%	291	0.2%	16	0.0%
	合計	366,642	200,750	100.0%	116,872	100.0%	49,020	100.0%
	一般小計	253,158	139,288	69.4%	78,565	67.2%	35,305	72.0%
	児童小計	113,484	61,462	30.6%	38,307	32.8%	13,715	28.0%
電子書籍	7,063							
視聴覚資料	ビデオ	557	0	-	557	-	0	-
	LD	685	0	-	685	-	0	-
	DVD	165	105	-	60	-	0	-
	CD	907	689	-	218	-	0	-
	絵画	143	143	-	0	-	0	-

※ 令和5年3月31日時点の値

※ 那賀川図書館の蔵書数には図書館カウンター及び移動図書館車「ひまわり号」の数も含む

### 3) サービス

利用上限は図書の貸出が1人各館 100 冊まで、予約が1人 30 冊までとなっています。平成 20 年4月よりインターネットでの予約受付を実施し、令和4年4月からはメールによるリクエスト、レファレンスも受付を開始しました。障がいによる来館困難者向けには平成 30 年1月より郵送貸出サービスを実施しています。

また、図書館等施設から遠方となる市西部から南部では、移動図書館車等により図書館サービスを提供しており、公民館や市役所、高齢者施設等 17 か所、市内小中学校等 16 か所を月1回ほどのペースで巡回しています。

ICT(情報通信技術)の活用に関しては、電子図書館サービスの提供やホームページ上でのレファレンス受付を実施していますが、IC タグシステムを活用した自動貸出等には未対応となっています。

企画・行事は子どもやその保護者向けのおはなし会等を中心に実施しており、大人の利用者向けには主に展示を実施しています。

表 1-4 サービス・事業の概要

項目	概要
個人貸出	登録要件 市内在住・在勤・在学者および南阿波定住自立圏(那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)内 在住者／有効登録期間は3年間
	貸出(各館) ・図書(紙芝居・マンガ含む):1人100冊まで／雑誌:1人10冊まで 視聴覚資料:1人5点まで／絵画:1人1点まで ・貸出期間:2週間(絵画のみ60日間)／延長2週間
	返却 図書館・図書館カウンター・移動図書館車いずれでも可能 (閉館中はブックポストを利用可)
予約 (リクエスト)	・図書(紙芝居・マンガ含む):1人30冊まで／雑誌:1人10冊まで ・視聴覚資料:1人5点まで／絵画:1点まで ・市内在住・在勤・在学者は未所蔵資料をリクエスト可能
レファレンス	資料の所在調査や調査方法に関する問合せを窓口・電話・Webフォーム等で受付
障がい者 サービス	・障がいによる来館困難者向けに郵送で資料を貸出／郵便局経由で返却可 ・本・雑誌・CDあわせて5点まで／貸出期間30日間
移動図書館 サービス	・市内の公民館・高齢者施設等17か所および小中学校等16校を巡回 ・貸出期間:次回巡回日まで(約1か月)
電子図書館 サービス	・対象:図書館の利用登録者 ・貸出・予約:各3点まで／貸出期間:2週間 ・資料点数:7,063点(令和5年3月31日時点)

表 1-5 主なイベント・催事(令和4年度実績)

施設名	名称・開催期間等	詳細
共通事業	あなん図書館まつり 2022 ①11/4～11/20 ②11/12 ③3/4	①手島圭三郎絵本原画展・②講演会 ③絵本ライブ「大道芸 na よみかかせ」
	雑誌リサイクル 1/28～2/10	保存期限の過ぎた雑誌の無償提供
那賀川 図書館	図書館見学 ①10/12 ②11/8 ③11/25	中野島小・平島小の小学2年生による見学
	図書館の出張説明会 9/27	新野東小学校1・2年生
	親と子の読書感想文教室 7/16	小学生と保護者が対象
	親子で楽しむおはなし会 7/24	人形劇、大型絵本等
	スペシャルおはなし会 10/23	おいしい秋のおはなし会
	警察音楽隊ミニコンサートおはなし会 12/4	演奏とパトカーの展示・写真撮影他
	クリスマスおはなし会 12/17	タングラムシアター、ブラックパネルシアター
	おはなし会 毎週日曜日(48回開催)	読み聞かせや紙芝居、手遊び等
	開館時ピアノ演奏 毎週土曜日(38回実施)	市内中高生によるピアノ生演奏
令和5年度使用教科書展(小中高) 6/10～29	令和5年度採択予定の教科書展示会	
市民ギャラリー 年6回(各回数日～2週間程 度)	市および市内団体・学校等によるパネル展・ 作品展等	
羽ノ浦 図書館	七夕おはなし会 7/2	紙芝居、パネルシアター等
	ハロウィンおはなし会 10/15	大型絵本、紙芝居等
	クリスマスお話し会 12/17	紙芝居、エプロンシアター等
	おはなし会 毎週土曜日(33回開催) ※	読み聞かせや紙芝居、手遊び等
図書館 カウンター	夏休み英語で楽しくおはなしひろば 7/24	大型絵本、絵本シアターの読み聞かせ等
	秋の読書週間! おはなしひろばスペシャル 10/30	オペレッタ、大型絵本の読み聞かせ等
	冬休みおたのしみおはなしひろば 12/25	人形劇、大型絵本、パネルシアター等
	おはなしひろば 毎週日曜日(48回開催)	読み聞かせや紙芝居、手遊び等
	ぴよちゃんくらぶ 毎月第1～4木曜日(43回開催)	赤ちゃんと保護者を対象にした読み聞かせ等

※ 感染症拡大防止のため一部休止

#### 4) 利用状況

令和4年度の有効登録率は表 1-6 に示すとおりです。市人口に対する有効登録率は14.9%、男女間で比較するとほぼすべての年代で女性の有効登録率のほうが高く、特に女性の30～40歳代では35%前後と高い比率になっています。

市全体で、個人貸出利用者数・個人貸出冊数はいずれも微減傾向であり、館別に見ると、一般利用が休止されるまでは阿南図書館に徐々に利用が集中し、那賀川・羽ノ浦図書館の利用が減少する傾向が見られていました。

一方、予約受付冊数は令和3年度までは毎年増加していたほか、電子図書館の貸出数は、コロナ禍による非来館利用ニーズの増加や、市内小学校21校の6年生に利用者IDを一斉付与したこと(令和3年度633名、令和4年度649名)等を要因として、導入年である平成30年度と比較すると、令和2年度に約1.2倍、令和3年度には6倍以上、令和4年度には12倍以上と極めて大きく伸びています。

また、全国の人口同規模(6～8万人)の他自治体や県内の他7市と比較すると、いずれも資料費<sup>3</sup>が平均を下回るなかで、貸出冊数・予約冊数は平均を大きく上回っています。

表 1-6 年代別有効登録率

年代	令和4年度								
	市人口(人)			有効登録者数(人)			有効登録率		
	うち男性	うち女性		うち男性	うち女性		うち男性	うち女性	
6歳以下	3,116	1,619	1,497	124	57	67	4.0%	3.5%	4.5%
7～12歳	3,509	1,773	1,736	706	315	391	20.1%	17.8%	22.5%
13～15歳	1,932	1,004	928	509	226	283	26.3%	22.5%	30.5%
16～18歳	1,948	1,021	927	378	152	226	19.4%	14.9%	24.4%
19～22歳	2,423	1,240	1,183	331	93	238	13.7%	7.5%	20.1%
23～29歳	3,985	2,257	1,728	527	183	344	13.2%	8.1%	19.9%
30～39歳	6,470	3,399	3,071	1,443	346	1,097	22.3%	10.2%	35.7%
40～49歳	9,184	4,721	4,463	2,097	556	1,541	22.8%	11.8%	34.5%
50～59歳	8,918	4,389	4,529	1,247	342	905	14.0%	7.8%	20.0%
60～69歳	9,081	4,398	4,683	1,298	435	863	14.3%	9.9%	18.4%
70～79歳	10,614	4,955	5,659	1,291	518	773	12.2%	10.5%	13.7%
80歳以上	8,250	3,003	5,247	403	197	206	4.9%	6.6%	3.9%
合計	69,430	33,779	35,651	10,354	3,420	6,934	14.9%	10.1%	19.4%

※ 令和4年度末(令和5年3月31日)時点の数値。市人口は住民基本台帳に基づく統計による

表 1-7 利用状況の推移

項目	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		数	比率※	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率
個人貸出利用者数(人)	合計	138,105	100.0%	137,148	99.3%	118,732	86.0%	119,526	86.5%	117,662	85.2%
	那賀川	39,646	100.0%	38,781	97.8%	33,379	84.2%	73,392	185.1%	72,401	182.6%
	羽ノ浦	39,697	100.0%	37,030	93.3%	33,607	84.7%	44,606	112.4%	45,261	114.0%
	阿南	58,762	100.0%	61,337	104.4%	51,746	88.1%	1,528	2.6%	—	—
個人貸出冊数(冊)	合計	615,224	100.0%	606,793	98.6%	525,561	85.4%	524,652	85.3%	505,566	82.2%
	那賀川	173,380	100.0%	185,468	107.0%	147,867	85.3%	302,692	174.6%	292,079	168.5%
	羽ノ浦	190,888	100.0%	161,906	84.8%	157,459	82.5%	215,084	112.7%	213,487	111.8%
	阿南	250,956	100.0%	259,419	103.4%	220,235	87.8%	6,876	2.7%	—	—
予約受付冊数(冊)	合計	50,532	100.0%	52,914	104.7%	57,986	114.8%	63,063	124.8%	55,613	110.1%
	那賀川	11,307	100.0%	14,602	129.1%	13,797	122.0%	43,017	380.4%	37,680	333.2%
	羽ノ浦	13,207	100.0%	10,484	79.4%	14,859	112.5%	19,016	144.0%	17,933	135.8%
	阿南	26,018	100.0%	27,828	107.0%	29,330	112.7%	1,030	4.0%	—	—
電子書籍	ユニークユーザー数(人)	691	100.0%	637	92.2%	855	123.7%	3,969	574.4%	7,185	1039.8%
	貸出数(回)	1,275	100.0%	1,088	85.3%	1,599	125.4%	8,371	656.5%	16,181	1269.1%

※ 比率は平成30年度を100%とした場合の値

※ 電子書籍のユニークユーザー数は、毎月の「当該月に一度でもログインしたアカウント数」を12ヶ月分合計した値

<sup>3</sup> 図書費、雑誌費、新聞費、視聴覚資料費等の合計

表 1-8 人口同規模他自治体(107市)および県内他市(7市)の図書館との比較

項目	人口 (人)	貸出冊数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 決算額 (千円)	人口1人当たり		
					貸出冊数 (冊)	予約件数 (件)	資料費 決算額 (千円)
阿南市	71,336	525,561	57,986	13,057	7.37	0.81	0.18
阿南図書館	-	220,235	-	-	-	-	-
那賀川図書館	-	147,867	-	-	-	-	-
羽ノ浦図書館	-	157,459	-	-	-	-	-
人口同規模(6~8万人) 他107市平均(a)	69,601	303,167	33,124	17,665	4.35	0.47	0.25
aに対する阿南市の値の比率	102.5%	173.4%	175.1%	73.9%	169.5%	172.7%	71.9%
県内他7市平均(b)	68,555	232,663	26,364	15,290	3.76	0.22	0.22
bに対する阿南市の値の比率	104.1%	225.9%	219.9%	85.4%	196.1%	375.3%	81.5%

※ 日本図書館協会「日本の図書館 2021」(令和4年3月刊行)をもとに作成  
ただし阿南市の統計値は図書館年報令和3年(2021年)版を参照

## 5) 運営

図書館カウンターは午前9時、那賀川図書館・羽ノ浦図書館は午前10時から、いずれも午後6時まで開館しています(図書館カウンターに限り土・日曜日は午後5時まで)。

1市2町の合併にともない2つの旧町立図書館が地域館となった経緯から、各館の蔵書における重点分野等は旧町立図書館時代から概ね引き継がれており、イベント・事業等についても多くは各館で計画・実施する等、各館がそれぞれ近隣住民のニーズに応えつつ、ゆるやかに連携しながらサービスを展開しています。

運営においては市民のボランティアグループや個人ボランティアとも協力しており、各施設における読み聞かせイベントの開催や、那賀川図書館における前庭「阿波公方の苑」の美化作業や学生ボランティアのピアノ演奏といった取組みを市民協働のもとで実施しています。

また、本市は阿南工業高等専門学校と連携協定を結んでおり、その1つとして図書館も連携会議を開催しています。資料の相互貸出による館内コーナーの設置や図書館だよりにおけるやりとり、互いのホームページ上でのリンクバナーの掲載等を実施しています。

表 1-9 運営状況

施設名	那賀川図書館	羽ノ浦図書館 (市情報文化センター内)	図書館カウンター (市役所内)	阿南図書館
開館時間	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前9時～午後6時 (土日は午後5時まで)	一般利用休止
休館日	月曜日・年末年始			-
	祝日・月末整理日・ 特別整理期間	祝日の翌火曜日・ 月末整理日・ 別整理期間	祝日	
年間開館日 数(日)※	277	279	293	-
職員数 (館長を除く)	11名	6名	4名	- (館長のみ)

※ 令和4年度値

## (2) 市の概要・施策の方向性

### 1) 市の概要

#### ① 地理

本市は、昭和 29 年から 33 年にかけて 12 町村による合併、編入を経て誕生し、さらに、平成 18 年に那賀川町、羽ノ浦町を編入して現在の市域が形づくられました。

四国山脈の東端に連なる山地を有する西部、那賀川水系によって形成された沖積平野やリアス海岸が紀伊水道に面する東部、そして太平洋に面する南部と、本市は温暖な気候に恵まれるとともに、自然豊かな地域を市域としています。

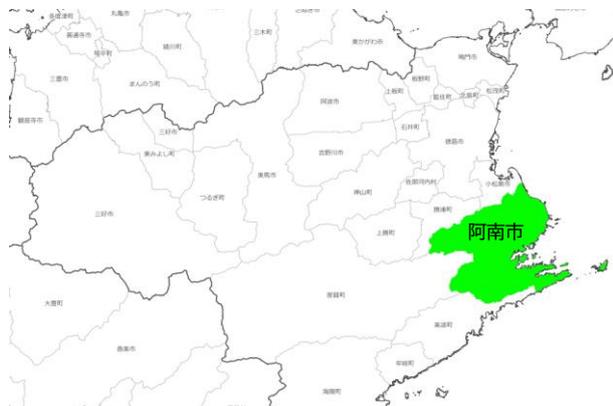


図 1-2 阿南市位置図

#### ② 文化・産業

本市は、古墳や阿波水軍の古い歴史と四国遍路のお接待文化が残る一方で、海岸沿いには県内屈指の工業地域である辰巳工業団地や大湊新浜工業団地を擁し、西日本を代表する石炭火力発電所等が立地する産業のまちでもあります。特に本市を拠点とする日亜化学工業株式会社は世界トップクラスの LED (発光ダイオード) 製造量を誇り、「光のまち阿南」の取り組みは全国的に注目を集めています。また、観光資源においても、全国渚百選に選ばれた北の脇海水浴場や伊島、蒲生田岬、四国八十八箇所霊場の「太龍寺」や「平等寺」等、豊富な資源に恵まれています。

#### ③ 人口動向

本市の総人口は、昭和 60 年頃以降、一貫して緩やかに減少しており、令和 2 年における国勢調査では 69,470 人となっています。また、「阿南市人口ビジョン」(2020 年策定版)では、本市の将来人口として、2060 年には約 3 万 8 千人まで減少することが見込まれています。

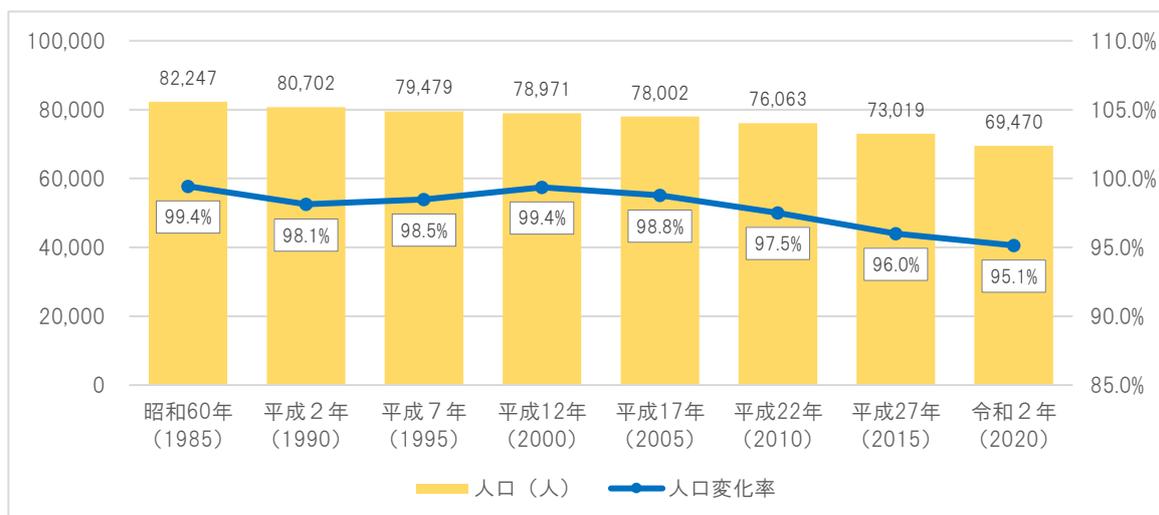


図 1-3 市の人口と人口変化率の推移(昭和 60 年～令和 2 年)

※ 「阿南市人口ビジョン(2020 年策定版)」および令和 2 年国勢調査結果に基づき作成

年齢3区分別人口と従属人口指数の推移(平成2年～令和2年)を見てみると、老年人口が平成2年(1990年)の15.6%から令和2年(2020年)には33.6%と30年間で18.0%ポイント増加している一方で、年少人口は18.5%から12.1%と6.4%ポイント減少しています。生産年齢人口100人が、年少人口と老年人口を何人支えているかを示す比率である「従属人口指数」は、平成2年(1990年)の51.8から令和2年(2020年)には84.1まで増加しています。

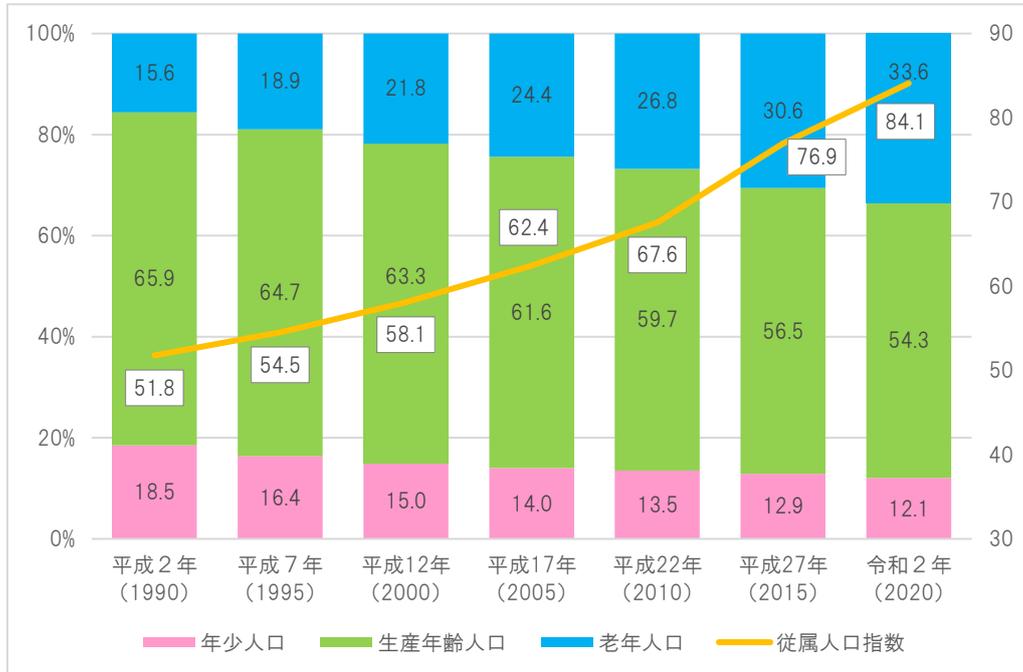


図 1-4 年齢3区分別人口と従属人口指数の推移(平成2年～令和2年)

※「阿南市人口ビジョン(2020年策定版)」および令和2年国勢調査結果に基づき作成

また、地区別人口の将来動向においては、2060年には市全体の半数近い人口が那賀川町と羽ノ浦町に集中する一方、加茂谷、新野、福井、椿(伊島)の地区人口は2015年比で約2割まで減少することが見込まれています。

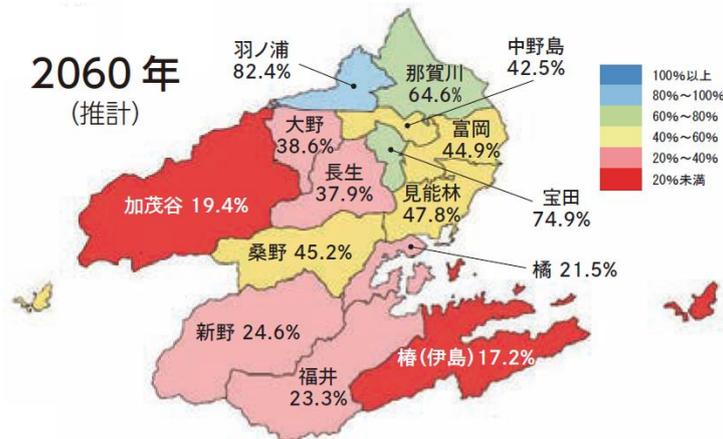


図 1-5 2015年の人口を100%とした場合の地区別人口の変化指数

※「阿南市総合計画 2021▶2028」より抜粋

## 2) 全般的な上位・関連計画

今後の市立図書館のあり方や新図書館整備に関する市の計画等の概要は、表 1-10 に示すとおりです。本市では、近い将来目指す都市像として「多様な産業が咲き誇る 生涯チャレンジ都市 阿南」を掲げる中で、市民一人ひとりが主体的に挑戦し活躍できる地域社会の実現を目指しています。そのために、情報拠点としての図書館の機能やサービスの充実を図り、市民がその多様なニーズや社会の変化に応じ主体的に学ぶことができる環境を整備することで、市民の学びの成果が地域課題の解決やまちづくりにつながっていくことが求められています。

表 1-10 上位・関連計画の概要

計画名 (策定年月)	市立図書館のあり方や新図書館整備に関連する内容	
阿南市総合計画 2021▶2028 (令和3年3月)	2028年の都市像	<p>「多様な産業が咲き誇る 生涯チャレンジ都市 阿南」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人ひとりが自分らしさや生きがいを発見し、生涯にわたり主体的に何度も挑戦し、活躍できる地域社会の実現を目指す</li> </ul>
	基本政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の都市像である「多様な産業が咲き誇る 生涯チャレンジ都市 阿南」の実現に向けて6つの基本政策を定める</li> <li>うち、基本政策Ⅲ 豊かな心と生きる力を育むまちづくり(教育・文化)では、基本的な方向性として、<u>地域の問題解決に向けて実践的に学び、その成果を地域社会で生かせるような「新しい公共<sup>4</sup>」の視点に立った学習の在り方を構築するため、様々な学習機関を支援し、多様化する社会変化やライフスタイルに適応できる人材を育成することを示す</u></li> </ul>
第3期阿南市教育振興基本計画 (令和2年3月)	阿南市の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>10の課題のうち、⑤生涯にわたる学びへの対応として以下の考え方を示す <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>市民の多様なニーズに応じた学びの機会の提供や学び直しを可能とする生涯学習環境の整備が重要</u></li> <li>➤ 社会教育施設においては、より多くの市民が利用し学習するための機能の充実、およびその施設を利用した<u>市民の学びが住民参加による地域課題の解決や豊かなまちづくりへとつながっていくことも求められている</u></li> </ul> </li> </ul>
	施策方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報拠点としての図書館の機能やサービスの充実を図る</li> </ul>
阿南市子どもの読書活動推進計画(第二次推進計画) (平成28年3月)	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての子どもが豊かな心をはぐくみ、生涯にわたり自ら学ぶことのできる力を養うため、子どもの読書活動の意義や重要性について市民の理解・関心を高め、家庭、地域、学校の連携のもと市民総ぐるみで、<u>子どもが自主的に読書活動に取り組むことのできる環境を整備することを目指す</u></li> </ul>

<sup>4</sup> 行政だけが公共の役割を担うのではなく、住民自らができる役割を担い、地域の問題解決や地域をより良くするために主体的に取り組み、住民と行政の協働により「支え合いと活気がある社会」を創り出そうとする考え方

### 3) 阿南駅周辺まちづくりの方向性

#### ① 阿南駅周辺まちづくりビジョン(令和4年3月)

「ビジョン」では、上位計画である阿南市総合計画や関連計画の方向性を踏まえたうえで、駅周辺のまちづくりにおいて、市内外からの子育てファミリー層と若い世代をまちづくりのコアターゲット(核となる対象層)とし、図書館は産官学民の様々な人々が集まり、多様な物事を生み出し育む拠点とすること等が示されました。

表 1-11 阿南駅周辺まちづくりビジョン概要

項目	新図書館整備に関連する内容
コンセプト	「公共空間を活かし、人・環境・経済がつながり好循環する、将来世代のための駅周辺エリアの新たな物語」
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅周辺まちづくりにおける4つの基本方針を挙げる中で、以下のような方向性を示す               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市民会館解体跡地の活用を中心として<b>賑わいと交流の創出</b>を図り、阿南駅西側の多様な都市機能の集積が一体となった中心拠点としての魅力・求心力を高めるまちづくりを推進する</li> <li>➢ 阿南駅西側での<b>多様な主体による取組みと中長期的に連携可能なまちづくり</b>を推進する</li> </ul> </li> </ul>
土地利用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 4つの方針を挙げる中で、市民会館解体跡地等の公共用地を活用し、新たな賑わいと交流の起点となる複合拠点の形成を図ることを示す</li> </ul> <div data-bbox="678 1070 1385 1713" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">土地利用方針図 ※「ビジョン」より抜粋</p>
導入機能(案)	<p>コア機能(案):図書館/集合住宅/緑地広場/健康増進・娯楽機能/地域のための便利施設/子育て支援施設</p> <p>オプション機能(案):産学連携の研究所/医療機能/屋外スポーツ広場/カフェ/ファミリー層の女性をターゲットにした民間施設/本屋/情報発信機能 等</p>

## ② 阿南駅周辺まちづくり基本計画(令和5年 10月)

本計画と並行して策定が進められた「阿南駅周辺まちづくり基本計画」では、「ビジョン」のコンセプト・基本方針を引き継ぎつつ、市民アンケート調査や市民ワークショップ等を経て得られたニーズを踏まえ、施設の整備箇所や新図書館複合施設全体で導入すべき機能の方向性等が示されています。

表 1-12 阿南駅周辺まちづくり基本計画 概要

項目	新図書館整備に関連する内容
コンセプト・基本方針	「ビジョン」を引き継ぐ
段階的な取組みの流れ	<p>STEP 1 市民会館解体跡地の整備方針の具体化</p> <p>STEP 2 阿南図書館用地、商工業振興センター前用地、 その他エリア内における整備活用方針の具体化</p> <p>STEP 3 各機能の連携を強化</p> <p>短期的に推進する取組</p> <p>中長期的に推進する取組</p>
新図書館複合施設の整備箇所	アンケート、ワークショップ、関係団体ヒアリングにより得られた意見をもとに求められる立地特性を評価した結果、3候補地のうち、 <b>市民会館解体跡地を整備箇所として選定</b>
新図書館の導入機能(案)	<p>新図書館の導入機能(案)</p> <p>図書館機能 + 複合機能*</p> <p>複合機能は現時点で整理したものであり、今後、敷地面積等の物理的条件や事業の実現性を考慮し、検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習・研究機能</li> <li>交流機能</li> <li>情報発信・展示機能</li> <li>飲食機能</li> <li>滞留機能</li> <li>子育て支援機能</li> <li>交通・アクセス機能</li> </ul> <p>※整備予定地はひまわり会館と隣接していることから、一体的な複合拠点として連携し、諸室の相互利用等、効率的な施設運営に向けた取組を進めます。</p>
新図書館複合施設の整備運営手法について	図書館がまちづくりの核として地域貢献を担い、時代の変化に柔軟に対応可能な整備運営手法となるように各種検討を行う

## 2 市民意向

### (1) 阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート調査結果

#### 1) 調査概要

阿南駅周辺まちづくり、およびその対象エリアにおけるコア(中核)機能として導入を想定する新図書館の整備について、その方向性を検討する上での基礎資料とするためにアンケート調査を実施しました。調査は令和5年2月から3月にかけて実施し、647件の回答が得られました。

表 1-13 調査概要

項目	内容	
調査名	阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート	
調査方法	郵送・Web 回答フォーム	
調査対象	阿南市住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の市民 2,000 人	
調査期間	令和5年2月 13 日(月)～3月 20 日(月)	
調査内容	① 共通	属性
	② まちづくり基本計画に関する事項	阿南駅周辺エリアの利用状況および現状評価／阿南駅周辺まちづくりに期待するもの等
	③ 新図書館基本計画に関する事項	利用状況／新図書館に対する考え方／今後充実を期待するもの等
配布数／回収数(回収率)	2,000 票／647 票(32.4%) <内訳> 郵送:546 票、Web 回答フォーム:101 票	

#### 2) 調査結果

以下、本項では、調査結果のうち新図書館基本計画に関する部分について記載します。

現在の市立図書館の、過去3年間における利用頻度としては、「以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない」が最多で全体の 29.2%、次に多い「全く利用したことがない」が 21.2%でした。月1回以上の利用があるとした回答をあわせて全体の 20.2%、年1回程度以上まで含めると 40.0%となります。

[単数回答]

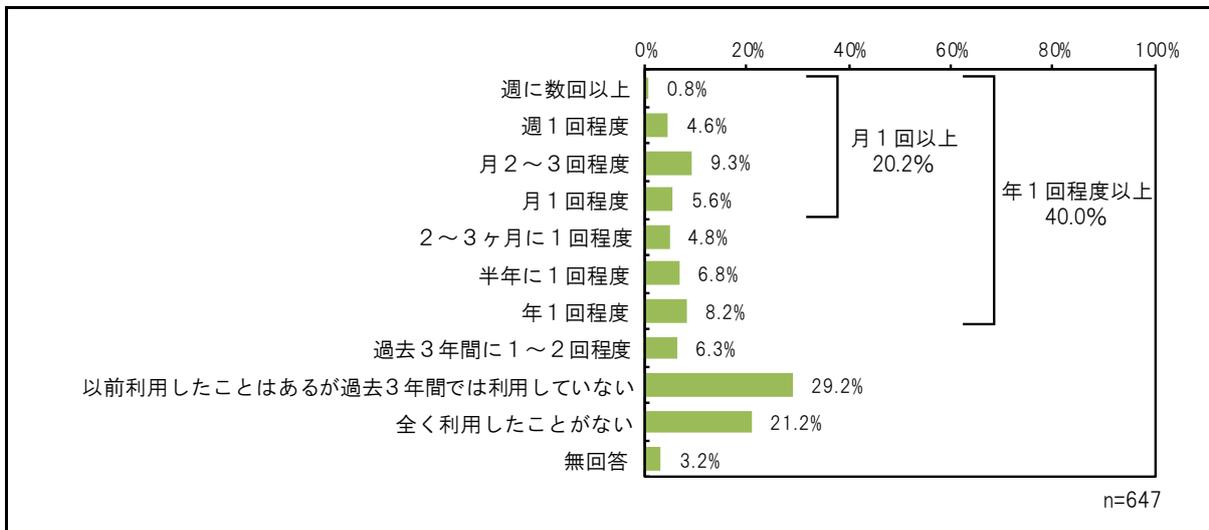


図 1-6 過去3年間での、市立図書館の利用頻度

新図書館に期待することとして、まず、利用面での望ましい図書館像としては、「居心地がよい図書館」が50.7%、「資料が充実した図書館」が45.9%と、それぞれ全体のうち約半数の回答で選ばれました。続いて「子ども等が気兼ねなく使える図書館」(34.3%)、「読書に集中できる図書館」(27.4%)、「誰もが使いやすい図書館」(24.6%)、「自習などができる図書館」(19.5%)、「学ぶ意欲を満たせる図書館」(17.0%)の順に多くの回答が集まりました。

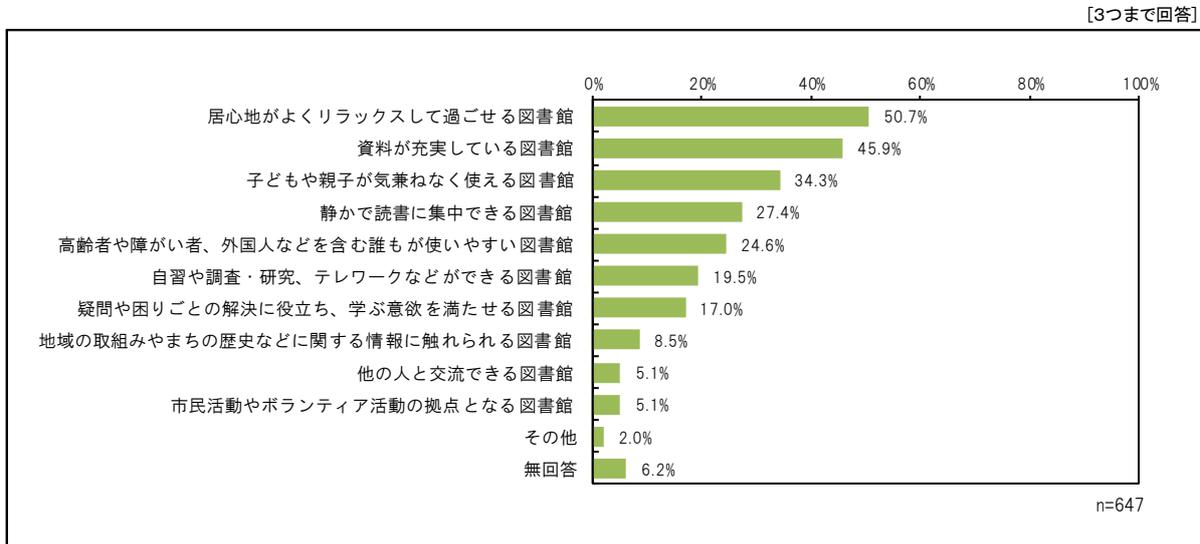


図 1-7 「利用したい」と思う図書館のあり方

サービス・機能については、「幅広く、新鮮な資料の充実」が約半数(48.5%)と最多で、続いて「趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催」(29.4%)、「調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介」(22.7%)の順に多く、また、他の選択肢も幅広く選ばれています。

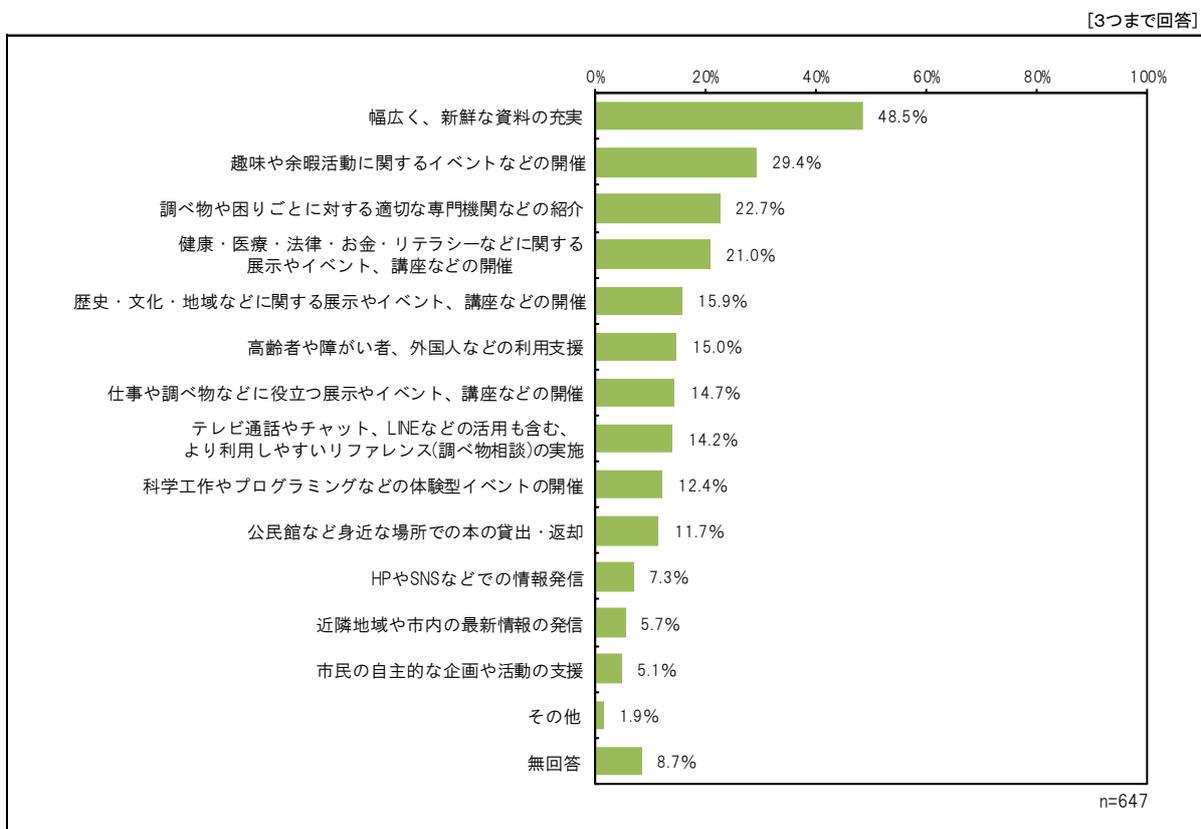


図 1-8 特に充実を望むサービス・機能

施設空間・設備については、「ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席」(43.6%)、「無料WiFiや持ち込んだPCなどが利用できるスペース」(43.4%)、「1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室」(39.9%)に多くの回答が集まり、続いて「飲食や会話ができるスペース」(27.0%)、「子どもが靴を脱いで本を読めるスペース」(22.3%)、という順となっています。

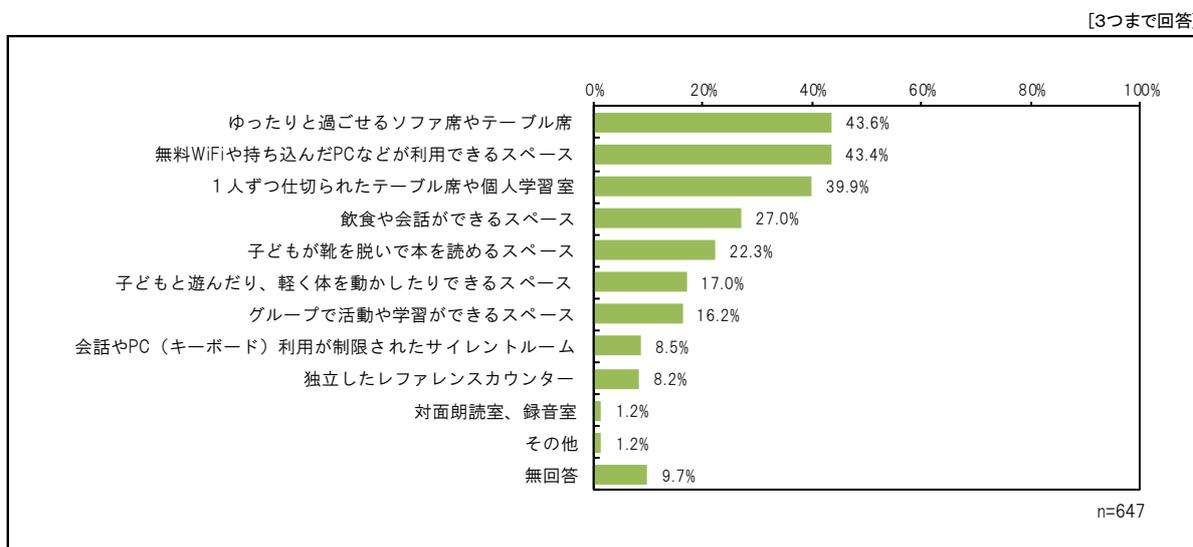


図 1-9 特に充実を望む施設空間・設備

資料については、「実用書」(56.4%)、「読み物」(43.7%)、「専門書」(33.4%)、「児童書・絵本・紙芝居」(28.9%)等の充実を求める意見が多く見られました。

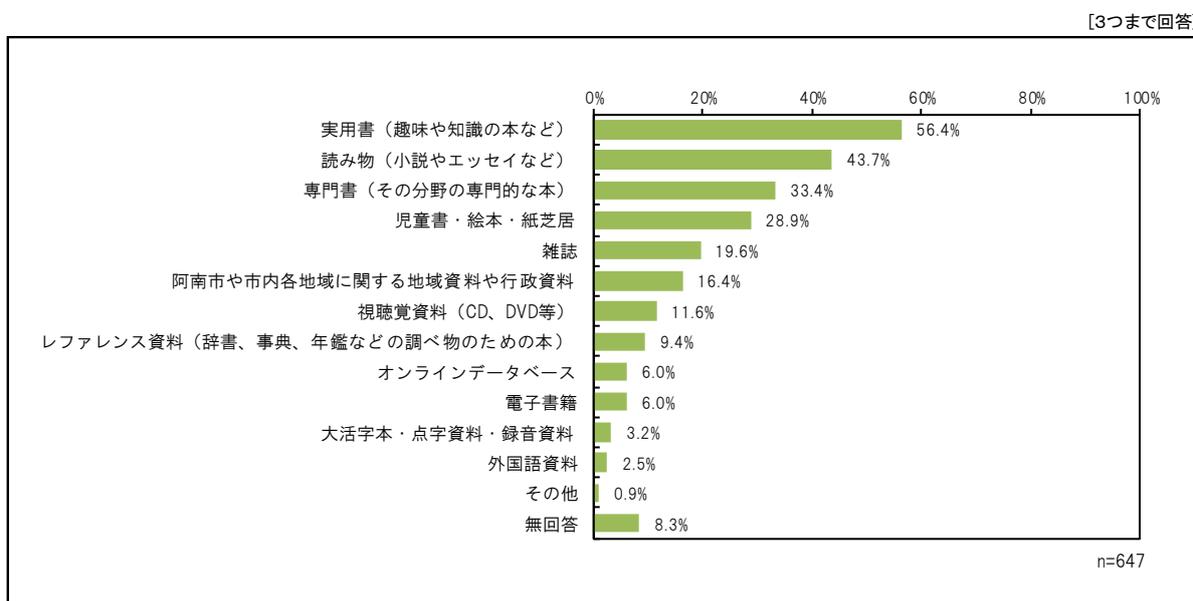


図 1-10 特に充実を望む資料

また、自由記述の設問では、特に「さまざまな年齢層や利用層が互いに気兼ねなく利用できること」「ゆったりとした、明るく開放的な空間の整備」「目的別に使い分けられるさまざまなスペースや設備の提供」「気軽に立ち寄り、1日中楽しめる場とすること」「イベント・講座の開催や交流機能の充実」「学びや調べ物に対する支援の充実」「市の歴史や文化に触れられる阿南市らしさに溢れた場の構築」「インターネットとの差別化」「新図書館の早期開館」といった意見が多く挙げられました。

表 1-14 図書館に関する要望(自由記述)

区分	内容 ※ 一部を抜粋・編集しています
全体的なあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在～未来の時代に応じた、さまざまな人が楽しく使える施設／地域にあった、全年代が楽しめる図書館／広い年齢層が利用でき、心身ともに健康になる場所</li> <li>・ 世代間交流ができる図書館／人々の交流施設</li> <li>・ 図書館でしかできないこと、足を運ぶことで見つけれられるものがあるとよい</li> <li>・ 3館を統合してより充実した蔵書・機能をもつ図書館に</li> </ul>
施設イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然光のさす、明るい図書館／明るく開放的な図書館／緑に囲まれた、リラックスできる美しい図書館／日常生活の中に自然に入り込むような図書館</li> <li>・ ゆったりと落ち着ける空間と雰囲気をもった図書館／本を借りる、読むだけではなく、ゆったり一日過ごせる場所／一日中いても飽きない自分の時間を使える場所</li> <li>・ 雰囲気や景観を重視／人を呼び込めるスポットに／若者の SNS 発信を促すデザイン</li> <li>・ 幅広い年齢層が楽しんで時間を過ごすことができる空間／誰もが気兼ねなく利用でき、バリアフリーなどすべての人に対する気配りがある場所</li> <li>・ まちを活性化する拠点／さまざまな人がおしゃれに楽しく学びあえる場所</li> </ul>
施設機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども連れの家族や高齢者、静かに読書したい人など、互いに気持ちよく利用できるエリア分けされた図書館／館内に利用ルールの異なるさまざまなスペースをつくる</li> <li>・ 子連れでの気軽な利用のための個室やスペース等の設置／子育て層が集まれる場所／子育てに関する資料や体を動かせる公園・緑地、商業施設などの整備／子どもだけでも長時間過ごせる場所／図書館と子育て機能施設、遊び場の近接</li> <li>・ 人が集まる空間／ゆったりしたスペース、交流機能、飲食可能な場</li> <li>・ 何歳になっても気軽に利用できる施設／だれもが利用しやすい図書館</li> <li>・ 図書館、交流の場、学習室や貸しスペース等多目的に利用できる施設／ギャラリーなど創作活動を支援する場／コンビニ、カフェ／災害時の避難場所や備蓄倉庫の機能</li> <li>・ 市民が研究発表したり、オンライン講座や試験を受けたりできる場所／自主的な学習を支える設備や人材、資料の充実／学習スペースの充実・拡大</li> <li>・ 災害時に利用できる図書館／駐車場を広くしてほしい</li> </ul>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さらなる資料の充実／専門書を含む多様な資料／専門誌／歴史関連資料／いろんな種類の絵本／名作や新刊のマンガ</li> <li>・ ネットと差別化し、阿南市の歴史資料や古道の資料等に触れられる場所に</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も気軽に相談できる雰囲気に／司書の専門性など、インターネットにない強みを／調べ物がすぐに解決できるようにしてほしい／親切に対応してくれる司書を配置</li> <li>・ 専門知識や新しい知識が学べる場に／地域の歴史、地理などが深く調べられる場所に</li> <li>・ 若杉山や加茂宮ノ前遺跡等古代遺跡等をアピールできる拠点に</li> <li>・ 利用者を分析し、本を読みたくなる工夫をしてほしい／おすすめ機能などの充実</li> <li>・ 地域の特色として農業を支援してほしい／利便性・多様性に配慮してサービス向上を</li> <li>・ 自分で来館できない高齢者などもさまざまな本が借りられるようになるとありがたい</li> </ul>
イベント・事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に密着したイベントやセミナーの開催／人が集まるイベントの開催</li> <li>・ フリースペースで講座が開催されるなど、行けば何か楽しいことがある図書館</li> <li>・ 図書館で読書などを広める活動に参加したい／本などに関するワークショップの開催などがあつたら良い／読み聞かせや、グッズなどの製作活動を親子で楽しめるとうい</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の人材育成や優秀な人材の配置</li> <li>・ 柔軟なルールで、リラックスでき人とも楽しく会話のできる明るい楽しい図書館</li> <li>・ 学校図書館と連携し、子どもたちを地域で育てられるとうい</li> </ul>
整備時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阿南図書館や市民会館が利用できなくなり、非常に不便／早く整備してほしい。</li> </ul>
立地・アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の中心部には学校も多く位置しており、学校以外の学習の場として図書館は必要</li> <li>・ 高齢者の交通手段の充実／バス停の設置</li> </ul>

## (2) 市民ワークショップ結果

### 1) 開催概要

基本計画策定に向け、市民意見を取り入れることおよび今後の図書館づくりやまちづくりへの市民参画のきっかけとなることを目指し、市民とともに未来の図書館を描いていくための市民ワークショップを全3回にわたり開催しました。

表 1-15 開催概要

項目	内容
名称	阿南市立図書館市民ワークショップ
対象	高校生以上の阿南市在住・在勤・在学者(全3回継続参加)
参加申込者数	24名
会場	阿南市立那賀川図書館 視聴覚室
各回開催日 およびテーマ	【第1回】令和4年11月19日(土)「阿南市立図書館の課題を考えよう」 【第2回】令和5年 1月21日(土)「新しい図書館に求められる機能を考えよう」 【第3回】令和5年 3月18日(土)「まちづくりに活かせる図書館を考えよう」

### 2) 開催結果

第1回では、現在の市立図書館の良いところとして、絵本等の充実や貸出・返却のしやすさ、施設の落ち着いた雰囲気、司書対応の良さ等が、改善したいところとして、蔵書の少なさや古さ、アクセスの不便さ、閲覧や学習等目的別のスペースの少なさ、子連れでの利用のしづらさや、イベント・広報の少なさ等が挙げられました。

第2回では、具体的な利用者像(「モデル利用者」)の利用スタイルを想像したうえで、新しい図書館でしたいこととして、イベントへの参加や友人とおしゃべり、飲食、講座等を通じた学習や情報収集、ゆっくりとした滞在利用、趣味等を通じた他の市民との交流、気軽に安全な利用等が、そのために必要なものとして、学習席やラウンジ等目的に応じたスペースや設備、困りごとの解決につながる場やサービス、さまざまな利用者の利用しやすさにつながるサービス等が挙げられました。

第3回では、図書館やまちを盛り上げ、まちづくりにつなげていくための企画として、さまざまなイベントや講座等を市民が企画し、学ぶだけでなく市民どうしが教え合うことができるようなしくみづくりや、子どもたちが自ら考えながら多様な体験ができるイベント、図書館資料を活用しながらまちにでかけ創作活動を行うイベント、市民が多様な活動に関する発表や交流の場として図書館を活用すること、阿南市の歴史資源や地域資源を活用しながらさまざまな相手方と連携していくこと等が挙げられました。



写真) 市民ワークショップの様子

表 1-16 第1回市民ワークショップの主な意見

区分	良いところ・伸ばしたいところ	足りないところ・改善したいところ	
市立図書館全体	立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>3館あり選んで利用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスが不便／南にも図書館がほしい</li> <li>返却場所を増やしてほしい</li> </ul>
	施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれい・明るい</li> <li>落ち着く・雰囲気が好き</li> <li>児童と一般が分かれていて子どもが過ごしやすい</li> <li>自習室がある</li> <li>フリーWiFiがある</li> <li>子ども用の検索PCがある</li> <li>バリアフリーは充実している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくり本を読めるスペースや屋外席、喫茶コーナーがほしい</li> <li>交流の場がない</li> <li>自習席が少ない・開架に近い</li> <li>貸出カウンターが少ない・狭い</li> <li>資料検索性 PC、WiFi 環境の整備</li> <li>子どもが居やすい場所に</li> <li>授乳室やおむつ替えの場所</li> <li>駐車場や交通環境／雨天時の利用</li> </ul>
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>3館探せばだいたいの絵本が見つかる</li> <li>まんがが割とある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新刊など資料をもっと増やしてほしい</li> <li>痛みすぎている本がある</li> <li>郷土資料の保存や紹介</li> </ul>
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>1館1人 100冊まで借りられる</li> <li>職員は親切・やさしい・対応がよい</li> <li>県外からも探してくれる</li> <li>ひまわり号が便利</li> <li>3館相互利用できる／本をどの館でも返せる</li> <li>国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスが使える</li> <li>図書館ホームページが見やすい</li> <li>ネットで延長・予約できる</li> <li>古い本をくれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人や中高生向けのイベント・講座</li> <li>イベントの広報を増やす</li> <li>小・中学生の利用促進</li> <li>開館日・時間の拡大</li> <li>司書によるサービスを受けやすく</li> <li>レファレンスを利用しやすく</li> <li>障害者サポートの拡大</li> <li>借りたい本を見つけにくい</li> <li>検索を使いやすく・書影を表示</li> <li>LINE で新刊情報を発信</li> <li>HP 等をスマホでも使いやすく</li> </ul>
那賀川図書館	施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>前庭など緑が多く、環境が良い</li> <li>建物が広くて明るく、居心地がいい</li> <li>児童エリアが別棟に分かれている</li> <li>自習室ができた</li> <li>ヤングアダルト<sup>5</sup>の場所がちょうどいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広いがアクセントが少ない</li> <li>閲覧席が少ない／仕切り狭い</li> <li>学習スペース・館内飲食スペース</li> <li>トイレが遠い・古い、親の目が届きにくい</li> <li>駅から遠い</li> </ul>
	資料・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンガが良い</li> <li>ギャラリーを有効活用している</li> <li>ピアノ演奏など学生の参加がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料が古い</li> </ul>
図書館 羽ノ浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなしの部屋がある</li> <li>職員が柔軟に対応してくれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に狭い・暗い</li> <li>博物館コーナーの展示は入れ替えたい</li> <li>イベント時の駐車場不足</li> </ul>	
カウンター ・図書館 阿南図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿南図書館には週刊漫画雑誌があった</li> <li>ゆったりできる・使いやすい</li> <li>駅から近い・自分の学校に近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雰囲気が暗い</li> <li>図書館カウンターは本を見て選べない</li> <li>特設コーナーがもう少しほしい</li> <li>新館開館後もカウンターを残してほしい</li> </ul>	

<sup>5</sup> 子どもから大人への転換期にある 13 歳～18 歳の中高生世代、またはそれらの世代向けの資料

表 1-17 第2回市民ワークショップの主な意見

モデル利用者	新しい図書館で何をしたい	そのために何が必要
小学生	遊びたい/ゲームできる環境で遊びたい イベント参加/読み聞かせ	屋内の遊びスペース/公園 イベントスペース
女子中学生	調べ物/どんな資料があるのか知りたい グループワーク/友人とおしゃべり	グループ用スペース ラウンジ/カフェ
男子高校生	自習/友達と話/音楽活動/受験勉強 学校図書館に無い本を読む/部活用の本 オンライン英会話/趣味仲間と交流(ネット) 飲食/気軽に立ち寄りしたい	自習室/グループ用スペース スタジオ/貸出機材 飲食スペース/カフェ 駅に小さな貸出スペース
女子高校生	自習/友人とおしゃべり/仲間づくり 落ちつきたい 受験体験やビジネスに関する講演の聴講/色んなジャンルの体験/推し活(アイドル、アニメ)/アニメやアイドルイベントへの参加	予約制の学習室/進路関連本/ ビジネス書 広いスペース/ワイファイ環境 /フリートークできる場所 おしゃれな映える空間
20代 男性 農業従事者	農業経営やビジネスの研究/あなんを知る 仲間・グループをつくる	レファレンスサービス 困りごとが解決できる場や本
30代 男性 公務員	読書のついでに運動/宿泊/熟睡 図書館に行かずに読む・調べる/夜間利用	開館時間の延長/他施設と連携 したサービス提供
30代 女性 妊婦	子育てや地域、行政手続に関する情報を知りたい /助産師への相談/子どもと過ごす ほっとしたい/ママ友づくり	絵本
50代 男性 会社員	コーヒーを飲みながら読書/音楽鑑賞/仮眠 ゆっくり1日過ごす/趣味の活動発表 知らない人との出会い/自分の知識の共有	読書(選書)アドバイザー 伝言板・告知版 映画鑑賞スペース
60代 女性 おはなしボラン ティア	ボランティア活動の研修や情報交換 健康相談/孫とイベント参加/一日過ごす 子どもと遊ぶ安全な公園が併設	職員による読み聞かせ/孫が自 分で本を選べる環境 安全な公園的スペース
70代 男性	軽食しながら読書/新しい情報を取りたい 友人とおしゃべり/伝言板の利用	柔軟な利用ルール 新聞等のデジタル化(読みやす く)/会話できるスペース
70代 女性	気軽に来館したい/孫とゆっくり利用したい 本を配達してほしい/講座の受講/趣味のサー クル活動/保健師や栄養士への相談	防災拠点としての機能
その他(利用層 の明記がない もの等)	無料・安全な図書館利用(小・中学生) 子どもが自由に遊ぶ/多世代がともに過ごす 仕事/発表・展示/カンファレンス/演奏 ネット利用	子ども向けの送迎バス運行 配本・配達サービス/コワーキン グスペース/開かれたガラス壁 の部屋/カンファレンス室/ホ ール/スタジオ 楽器/ネット環境



写真) 市民ワークショップの様子

表 1-18 第3回市民ワークショップの主な意見

企画名	内容	アピールポイント
<p>あつまれ 図書館の森</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● さまざまな部活動の発表機会として図書館フェスティバルを開催 [ものづくり部]ロボット教室／プログラミング教室／LED イルミネーション製作／高専との協働／目指せ直木賞同好会 [アニメ部]マンガのビブリオバトル／POP 製作大会／コスプレイベント／声優さん講演会 [夜部]夜の読書会／科学センターとのコラボ [音楽部]市民による音楽練習や発表／音楽祭 [料理部]コーヒーショップ／本にちなんだ料理 [防災部]防災意識を高める講演会 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共通の趣味の人と出会う</li> <li>● いろいろな部活を通じて日々の活動の成果を発表する場を持つ</li> </ul>
<p>A.N.A 大学 We Love ANAN♡</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阿南のことを学び郷土愛を育むことができる市民大学講座を定期的に関講 [講座内容] 地域・歴史／民話や地元料理の継承／地質学や防災／四国や徳島にまつわる作品を集めたマンガまつり／音楽と絡めた読書会 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受講者は単位を取得でき、全講座を受けた方には博士号を授与</li> </ul>
<p>Book マルシェ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本に関連したマルシェを図書館の庭で開催 [開催内容] 市民による古書販売／料理やケーキ作り、コーヒーの入れ方、YouTube 動画やホームページ製作などのワークショップ／推しの作品を語り合う会／夜はテントでキャンプ 読書会 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族でも1人でも参加して楽しめる</li> <li>● 本を片手にいろんなことにチャレンジでき、一日中楽しめる</li> </ul>
<p>竹の図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阿南の資源である反面、維持に課題がある竹を、図書館のハード・ソフトの両面で活用 [ハード]随所に竹をあしらった図書館を整備／本棚や椅子等の什器や備品を竹でつくる／LED 竹灯りを製作し、閲覧空間等に活用 [ソフト]竹細工のワークショップや販売を実施／竹をテーマにした読み聞かせ、ビブリオバトル、講演会、演奏会／映える空間での婚活イベント、企業コラボイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹を活用することで、地域を育てながらさまざまな相手とつながり、産学連携、市民参画を進めることができる</li> </ul>
<p>作ってみよう 自分の風景</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阿南の風景を切り取って、自分のハートの風景として、自分の言葉で俳句・短歌として表現 [詳細] 夏井いつきさん、大高翔さんを講師として招聘／市内をめぐり、詩作を行う吟行を実施／疲れたら指圧の先生にツボ押しなどを教えてもらうマッサージとリフレッシュの講座等も開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 完成作品は作品集にまとめて収蔵</li> <li>● さまざまな人を呼び込みながら、図書館を身近な場所にし、まちづくりにつなげていく</li> </ul>
<p>遊びで学ぼう 子どもマルシェ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちが何かをつくり、つくったものを自ら販売するイベントを開催 [詳細] 何をつくるか、どう売るか、利益を何に使うか など、企画段階から子どもたち主導で考えてもらう／チラシ配付なども子どもたちの手で実施／中高生や金融のプロなど、街中のさまざまな人にサポート役として入ってもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちにもものづくりや商売の楽しさ・難しさを学んでもらう</li> <li>● まちのさまざまな方に関わってもらうことで、まち全体を盛り上げる</li> </ul>



写真) 市民ワークショップの様子

### (3) 高専生ワークショップ結果

#### 1) 開催概要

まちの将来を担う若い世代に、IT 等の活用も含む未来の図書館のすがたに関するアイデアを考えてもらうため、阿南工業高等専門学校の学生(11名)によるワークショップを開催しました。

表 1-19 開催概要

項目	内容
名称	阿南市立図書館高専生ワークショップ
対象・参加者数	阿南工業高等専門学校の学生 11名
開催日	令和4年12月21日(水)
会場	阿南高専情報棟1Fメカトロ電子回路実験室
テーマ	未来の図書館 ～IT技術で図書館の利用はどんなふうに変えられるか
内容	①講義「未来の図書館にどんなITが必要か？」 ②ITセキュリティ実演および体験レクチャー ③グループワーク

#### 2) 開催結果

ワークショップでは、はじめに株LIFESYNC 代表取締役の平田辰徳氏に、海外の図書館におけるIT活用の事例をご紹介いただきました。続いて、同社でホワイトハッカー<sup>6</sup>として日々企業や

<sup>6</sup> ハッカー（コンピュータやネットワークに関する高度な知識や技術を持つ者）のうち、悪意あるサイバー攻撃

官公庁の情報セキュリティ対策に携わられているご担当者に Zoom で出演いただき、日本のITセキュリティの現状や、近年図書館等の公共施設もセキュリティ上の脅威に晒されていることをご説明いただいた上で、コンピュータウイルス等の悪意あるソフトウェアがどのように不正な活動を行うのか、実際の通信監視ツールを使って高専生に体験してもらいました。

体験レクチャーの終了後、未来の図書館がどんなすがたであってほしいか、そこにどんなものがほしいかというテーマに対してグループワークを行いました。参加した高専生からは、AI や VR といったさまざまな ICT 技術を活用した新しい読書環境の提供や、まちの特徴を活かした取組み、コミュニケーションの場としての図書館の活用、といった意見が挙げられました。



写真) 高専生ワークショップの様子

表 1-20 高専生ワークショップの主な意見

区分	意見
ツールの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 技術書の電子書籍</li> <li>• 本がどの図書館のどこにあるか探せるシステム</li> <li>• 無人で貸出・返却に対応できるシステム</li> </ul>
AI の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年代、性別などに応じたおすすめ本の提案</li> <li>• 図書館の使い方を子どもや高齢者にわかりやすく説明するAIやペッパー的なロボット</li> <li>• 擬人化した本とお喋りさせてくれるAI／感情を込めて本を読んでもくれるAI</li> </ul>
VR <sup>7</sup> の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VR空間で本を手にとれ、さらに世界のどこからアクセスしたかに応じて、その国の言葉で中身が読めるVR上の図書館</li> <li>• VR上で話し合いができる空間</li> </ul>
まちの特徴を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 工業が強みであり工業系の学生が多い地域性を踏まえた、技術書・専門書の充実やLEDなどの特集コーナーの設置</li> </ul>
コミュニケーションスペースの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 静かな場所とにぎやかな場所、落ち着ける場所と人とつながれる場所の両立／飲食やお喋りOKのスペース／交流できる図書館／デートスポットになる図書館</li> </ul>
子ども向けサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 幼少期から本に触れる機会を増やすためのキッズスペースや子どもコーナーの充実</li> <li>• 小学校などでの図書館の周知や利用習慣づけ</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10冊くらいの小規模な図書館をたくさん設置</li> <li>• 障がいのある人も気軽に使える図書館</li> <li>• 行かなくても利用できる一方で、行くことでメリットがある図書館</li> <li>• 郷土資料の充実／電子書籍の充実や資料の電子化</li> </ul>

からコンピュータやネットワーク、機密情報等を保護する役割を担う者を指す

<sup>7</sup> 仮想現実 (Virtual Reality) の略

#### (4) 関係団体等ヒアリング結果

一般利用休止までは阿南図書館を、現在はひまわり会館を会場として活動している読み聞かせボランティア団体を対象に行ったヒアリング調査では、新図書館に期待するものとして、小さな子どもや子ども連れの保護者が利用しやすい施設・設備や、親どうしが会話したり集まったりすることができるスペースの整備等の要望がありました。

また、駅周辺まちづくりにおいて、駅周辺エリアにおける賑わいと交流の創出を図ることや、多様な主体による取組みとの連携の推進が目指されていることから、新図書館においてもさまざまな活動の連携相手として想定される地域おこし協力隊にヒアリングを行いました。地域おこし協力隊へのヒアリングでは、本だけでなくさまざまな情報発信や企画等を行い、未知の文化への出会いや新たな学びの機会を提供することや、地域の活動の紹介等を通じ市民の交流の場となること等への意見が得られました。

表 1-21 図書館ボランティア団体(1団体・9名)ヒアリング結果

区分		意見
<b>1. 活動する上での問題点・課題について</b>		
① 阿南図書館の一般利用 休止の影響 など		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせの本を取りに那賀川図書館まで往復するのは遠く不便</li> <li>・ 参加者にあわせて本を選び直すことができない</li> <li>・ 川一本隔てるだけで距離を感じ、利用者としても利用が億劫</li> </ul>
② その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所図書館カウンターでは、マルシェなどと時間が重なってしまうことがある。子どもがおはなしに集中できる環境を確保できるとよい</li> </ul>
<b>2. 新図書館に期待する空間・設備、サービス、機能等について</b>		
① 空間・ 設備	読み聞かせ スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さな子どもと親と一緒に裸足になって利用できる空間</li> <li>・ ベビーカーに子どもを載せたままおはなし会に参加できるスペース</li> <li>・ あまり広すぎない幼児向けのおはなしスペース</li> <li>・ 読み聞かせに関係するものがワンフロアですべて完結してほしい</li> <li>・ 発達障害児向けの1対1の読み聞かせなどへの対応可能な設備</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども用トイレやおもちゃ、洗い場</li> <li>・ 親同士で会話できるスペース／友人と集まって憩える場所</li> <li>・ 雨天でも利用できる、子どもが散策できるようなスペース</li> <li>・ 駐車場から雨に濡れずに入館できる施設／十分な駐車舞台数</li> </ul>
② サービス		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会の開催情報等が Web で確認できる仕組み</li> </ul>

表 1-22 地域おこし協力隊(8名)ヒアリング結果

1. 自身の業務を展開する上での問題点・課題について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿南市ではマルシェやお祭り等のイベントに活気があるのだが、開催情報をどこで得られるのか、市民目線ではわかりづらい</li> <li>・観光に関連する SNS 関係の活動をしているが、アクセスを伸ばす方法がわからない</li> <li>・淡島エリアの観光地化活動をしているが、発信力がまだ低い。可能なら図書館と連携したい</li> <li>・着任当初、建物の由来や寺社の歴史など土地のことがわからず苦労した。地域の人たちにも知られていないことが多く、公民館で市史や旧町史等を読んでようやく整理できた</li> <li>・地域住民が気軽に集まれる場所や、阿南産の土産や商品を買える場所が少ない</li> <li>・阿南の人々、特に人口の多数を占める 30 代以上は保守的な選択をしがちな面はあるが、新しいものへの意欲は強い。若い世代は母数こそ少ないものの、意欲も発信力もある。新しいことをしようとするときは、こうした面も踏まえ、バランスを考えながら進める必要がある</li> </ul>	
2. 新図書館に期待する空間・設備、サービス、機能等について	
区分	意見
① 自身の業務を展開する上で期待するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館とのタイアップイベント等さまざまな企画ができるとよい</li> <li>・地域で活動している人を紹介したり、知りたいことを誰かに教えてもらえたりする情報コーナーがあると市民の交流の場になる</li> <li>・若者が音楽活動等を始められるような環境があるとよい</li> </ul>
② 図書館利用者として期待するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本だけでなく、さまざまな学びや、未知の新しい文化があること自体に触れられる窓口になるとよい</li> <li>・未利用層に向けて本を貸し借り以外の機能を発信できるとよい</li> <li>・本ではなく空間を提供することをコンセプトとし、図書館に行くだけで楽しめるイベントを行い、そこから本につないでいくほうがよい</li> <li>・本との出会いをアドバイスしてほしい</li> <li>・図書館はさまざまな情報に触れられる窓口としての機能があればよく、資料はすべて電子でもよいかもしれない</li> <li>・地方都市の難しい点として高等教育に触れる機会が少ない。リカレント教育<sup>8</sup>の場として、学生や社会人がオンラインで学んだり、ともに学ぶ仲間を得られたりする場所になるとよい</li> <li>・WiFi や電源が書籍と併用できるとより学びを進められる</li> <li>・コワーキングスペースからさらに進めて学びの場、街のインキュベーション施設<sup>9</sup>のような役割を担ってほしい</li> <li>・子どもが行きたくなる、ワクワクしたり知的好奇心が満たされたりする場所にしてほしい</li> <li>・親子と一緒に絵本を読める畳スペースや遊具等を備えた、子どもが喜ぶ施設になるとよい</li> <li>・整備後、那賀川・羽ノ浦の2館ともうまく連携してほしい</li> </ul>

<sup>8</sup> 社会に出た後、生き方や働き方の選択肢を増やすこと等を目的として、新たな知識やスキルを学び直すこと

<sup>9</sup> 創業初期段階にある起業者の支援を目的とし、安価なスペースの提供や起業関連情報の提供等を行う施設

### 3 市立図書館が抱える課題

#### (1) 市民の多様な学習ニーズへの対応

現在の阿南市立図書館は、人口同規模自治体等の図書館に比べて利用は多いものの、限られた資料費の中で幅広い分野・形態の資料が十分に収集できていません。レファレンスサービスについては、ホームページのメールフォームでの受付を開始するなど利用の拡大を図っていますが、周知不足の面も見られます。未利用層を含む多様な市民のニーズや社会の変化等に対応し、市民のより深く知りたい、学びたいという意欲に応えるための資料の充実や、そのためのサービスを必要とする市民に届けるための取組みが必要です。

また、市民がその多様なニーズや社会の変化に応じて学ぶことができる機会の充実が求められている中で、子ども向けのイベント等は多く実施されており参加も多い一方、大人向けの講座や講演会等はまだまだ十分ではない状況があります。より幅広い世代に向けた事業・企画の展開や、市民それぞれの背景や状況、関心に対応したサービスの提供が望まれます。

来館困難者向けのサービスや、ティーンズ向けサービスといった対象別のサービス等、図書館利用に支援や配慮が必要な市民へのサービスについても、さらなる充実が求められます。



#### (2) 市域全体における図書館サービスへのアクセスの改善

市内で最も利用ニーズの高かった阿南図書館の利用休止以降、市中心部では市役所図書館カウンターでの限られたサービスしか提供できない状況です。また、市北部に図書館施設が集中していること、市内をカバーする公共交通機関が少ないことから、市民のあいだで居住地等による利用しやすさの差が大きく、特に徒歩圏外に居住する子どもや高齢者等の利用が難しくなっています。市民ニーズが大きい市中心部において十分な図書館サービスを確保するとともに、今後の地域ごとの人口動向等にも柔軟に対応可能なかたちで、市西部から南部に住む市民や子ども・高齢者等の来館困難者が図書館サービスによりアクセスしやすい環境を提供することが必要です。

また、小中学校に対する移動図書館車の巡回や配本、阿南高専との各種連携事業等は実施されていますが、学校図書館や、公民館や地域の読み聞かせグループ・読書グループとのつながりはさらなる発展の余地があり、図書館サービスや読書推進活動に関係する市内のさまざまな主体との関係づくりをさらに進めていく必要があります。



### (3) 市民の読書や学びを支える場の充実

---

自習・学習に使えるスペースは市立図書館の各施設にありますが、さらに大きなニーズがあり、個人で集中して学習できるスペースやグループ活動等の多様な学びに活用できるスペースも必要です。飲食や会話が可能なスペースや施設内の音のゾーニング等への大きなニーズもみられ、市民の多様な利用ニーズに応じたスペースや居心地の良い空間、親子連れやティーンズ世代がのびのびと利用できる環境の充実が求められます。



また、那賀川図書館、羽ノ浦図書館ともに蔵書数が資料収容能力を大きく超えており、資料を将来にわたって保存できる十分な資料保存スペースが必要です。

貸出・返却処理・予約本の受け渡しは対面での実施となっており、利用者の利便性向上やプライバシーの確保、業務の効率化の余地があるほか、施設全体で安定して使える WiFi 環境や利用者用のインターネット接続端末等も十分に確保していく必要があります。図書館が多様な学びの場としての役割を果たすためにも、さらに ICT の活用を推進していくことが求められます。

### (4) 地域課題の解決や駅周辺エリアのにぎわい創出への貢献

---

長年にわたりボランティアが図書館の活動を支えています。図書館における新たな市民活動や市民参画の機会にはさらに拡大の余地があり、市民が主体的に活動する場や、市民どうしが互いの活動や地域の取組み等を知る機会も限られています。市民の主体的な学びや活動が地域課題の解決にもつながっていくよう、市民の誰もが気軽に利用でき、活動・交流できる場の提供や、市民からの発案や市民主催の企画を促し支援する体制づくり、地域の抱える問題やそれに対する市民の取組みの発信・共有等を促す仕組みづくりが求められます。

また、新図書館が駅周辺エリアのまちづくりやにぎわい創出において中核(コア)的な機能を果たすため、上記のように市民が集い活動する場としての機能を整備するほか、市民や地域の多様な主体との連携によって、さらに場としての魅力を高め、まちの賑わいの起点となっていくことが望まれます。

## 第2章 新図書館のあり方

### 1 新図書館の位置づけ

今後の市立図書館において、新図書館が次のような役割を果たすことで、市全体でのサービスの充実を図っていきます。

#### 1 阿南市の新たな中央図書館

##### ① 市民の高度で多様な学びを支える拠点

幅広く、また専門的な情報までカバーする豊富な資料を提供するとともに、イベントや講座等をはじめとする新たな学びの機会や、利用者のニーズに応じた快適な利用空間や設備を提供することで、市民の高度で多様な学びを支援します。

##### ② 市内の図書館ネットワークの中心

市立図書館や移動図書館車だけでなく、学校図書館、公民館図書室、市内の読書活動推進に係わるグループ等、図書に関する多様なサービス主体のネットワークにおいて、ネットワーク全体の取組みを支援し、情報共有や協力体制の強化を推進する中心的役割を果たします。

##### ③ 資料の保存庫

阿南市の知の拠点として、豊かな発想や創造を生む多様な資料の収集に努め、市民のさまざまな知識や記録、記憶に触れたいという要望に応える身近な保存庫として、市民の財産である蔵書や地域資料を将来にわたり保存・提供します。

#### 2 にぎわい・交流を生み出す中心施設

##### ① さまざまな人々の居場所・憩いの場、新たなつながりを生み出す拠点

誰もが気軽に立ち寄り、思い思いに豊かな時間を過ごす居心地のよい空間を提供するとともに、さまざまな分野の人々が集まる図書館の特長を活かし、新たな発見や人と人とのつながりを生み出す場となることを目指します。

##### ② 阿南駅周辺エリアにおける地域づくりや交流の中心

地域情報の集約・発信を行うとともに、地域のプレーヤー（自らさまざまなことに関わっていく人）と連携した企画や、市民参加型の事業・イベント等を展開することで、阿南駅周辺エリアにおける地域づくりや交流の中心となることを目指します。また、図書館が持つ情報資源やネットワークを活用し、地域の魅力や特色を発掘・発信することで、阿南駅周辺エリアの活性化にも貢献します。

## 2 基本理念・基本方針

### (1) 基本理念

新図書館の基本理念は、「知と人が集い輝き まちの未来を育む 創造交流拠点」とします。

#### 新図書館の基本理念

知と人が集い輝き  
まちの未来を育む  
創造交流拠点

市民の身近な読書・学習の場として親しまれてきた市立図書館のあり方をこれからも継続しながら、新図書館では、豊富な資料とそれを安心して自由に使える環境を提供し、読書や学習だけでなく、さまざまな活動やチャレンジしようとする多様な人々が集まり交流することで、新たな輝きが生み出される拠点となることを目指します。

また、図書館をハブ(中核、集約点)とするネットワークの牽引役として、知や学びに係わる多様な主体と協働しながら、市内全域における子どもたちの教育、市民の生涯にわたる学び、地域の活動を支え、人やまちの新たな可能性を開くことに寄与します。

こうした取組みを通じ、さまざまな学びや出会いが生まれ育つゆりかごのような場となるとともに、まちの未来を育み、新たな価値が創造される拠点となることを目指します。

### (2) 基本方針

#### 1) 市民が生涯にわたり自ら学ぶことを支える

中央図書館として、利用ニーズの高い図書のほか、図書館が揃えるべき基礎的な資料や専門書、電子書籍といった幅広い資料をバランスよく充実させ、多様な市民それぞれの学習や知的好奇心に応えます。

また、調べ物に資する資料を揃え、利用者が気軽に安心して相談できる環境を整備し、レファレンスサービスのさらなる充実と利用促進を図るほか、それぞれの市民の背景や状況に対応した支援を行うため、関係機関とも連携しながら、専門的な情報提供や関連機関の紹介等にも取り組みます。

対象別のサービスでは、子どもや親子に対するサービスを引き続き充実させるとともに、新たな発見や学びにつながる講座や暮らしや仕事に役立つ情報発信といった大人向けサービス、ティーンズや高齢者、障がい者、外国人等特に配慮が必要な人々の利用しやすさに資するサービス等を展開します。

## 2) 市内の読書推進活動や学びを支えるネットワークを広げる

市の中心部という立地を生かし、市全域にわたる図書館サービスを展開する拠点と位置づけ、那賀川・羽ノ浦図書館をはじめ周辺の各機関との連携強化を目指します。

また、学校・公民館等の施設や地域の読書グループ等の多様な主体と連携し、資料面での支援だけでなく、互いに情報や課題を共有しあう図書館サービスネットワークを構築します。その上で、市の図書館サービスの中心施設として、ネットワークを通じて他の主体と協働しながら、まちの教育・学習環境における課題を解決するためのしくみづくりや人材育成を推進します。

## 3) 市民の多様な利用ニーズに応える場を提供する

リラックスして読書が可能な閲覧席や予約ができる学習席、子どもや子連れでも気兼ねなく利用できるスペース、グループで活動できるスペース、多用途なフリースペース、スタジオ等、市民アンケートや市民ワークショップ等で挙げられた多様な利用ニーズに応える施設を提供します。

また、多様な資料の充実や、将来にわたり資料を十分に保存できる収蔵能力の確保を通じ、市民の求める資料を提供できるよう努めるとともに、利用者が数多くの資料に自ら触れることができる開架空間を提供します。

さらに、ICT の活用による自動化・省力化を進め、業務の効率化や資料利用における利便性の向上を図るとともに、デジタルな情報へのアクセスや、それらを活用して新しい何かをつくりあげることができる環境の提供を目指します。

## 4) 出会い・交流・創造の場となりまちの魅力づくりに貢献する

市民ワークショップ等で、新図書館に求める機能として各種講座等の開催や、仲間づくり・交流、それらを通じた学びや困りごとの解決等が挙げられたことも踏まえ、図書館資料を活用し、市に関わる企業やグループ、学校等さまざまな主体と連携して、多くの人が集まる魅力的な展示・イベント等を開催するとともに、市民をはじめとする多様なプレーヤーと協働し、その知見や取組み等が発信・共有されることを通じて、集まった人が新たな発見や学びに出会い、人と人との新たなつながりが生まれ、新たなものが創造される場となることを目指します。

豊かな自然環境や、遍路道・若杉山辰砂採掘遺跡等の文化・歴史的資源、世界有数の LED 製造企業の本拠地であること等の阿南市がもつ多彩な魅力と、この地で育まれたまちの文化、市民の活動等の情報収集・発信を推進し、阿南らしさを感じられる場となるよう図ります。



# 第3章 新図書館の具体的な機能・サービス

## 1 サービス計画

### (1) 市民が生涯にわたり自ら学ぶことを支える

#### 1) 市民の読書活動と自発的な学びを支援する、豊富で多様な資料の提供

- 中央図書館として基礎的な資料を充実させるとともに、一般書から専門書まで幅広くバランスの取れた資料を収集し提供します。
- 阿南市の強みとなる自然環境・文化・学術・工業等を伝え発展させていくための資料を収集し提供します
- 紙の図書だけでなく、電子書籍や視聴覚資料等の多様な媒体の資料を、市民ニーズや将来的な資料環境の変化にも配慮しながら収集し提供します。



#### 想定するサービス例

- 阿南高専等教育機関や市内企業のニーズに合わせた工業系・情報技術系等の専門書の提供
- 市民の生活に役立つ仕事やくらし、趣味、医療関連といった実用書の提供
- 各種オンラインデータベース<sup>10</sup>や電子資料の提供

#### 2) レファレンスサービスの拡大と利用促進

- 市民がレファレンスサービスに慣れ親しみ、より活用するため、小・中学校からの利用環境や、利用者が気軽に落ち着いて相談できる環境を構築します。
- サービスの利用者が自身の課題をよりよいかたちで解決することにつながるため、各種専門機関や当該分野を担当する庁内部署・機関への橋渡しや、こうした機関との連携による情報提供を実施します。

#### 想定するサービス例

- Zoom 等を活用した小・中学生が学校図書館から直接司書に相談できる機会の提供
- レファレンス専用カウンターでの相談受付
- 医療機関や商工会議所等と連携したレフェラルサービス<sup>11</sup>の実施や講座等の開催

#### 3) 多様な利用者層に応じたサービスの展開

- 子どもや親子に対しては、子どもの発達段階に応じた読書活動や自ら学ぶことを支援するとともに、保護者の抱える不安の解消等に役立つサービスを提供します。
- 成人に対しては、暮らしや仕事における課題の解決に役立つ資料・情報のほか、日常生活を豊かにする新たな出会いや発見につながったり、学び直しのきっかけとなったりするよ

<sup>10</sup> オンラインで事典や新聞記事、雑誌記事、論文、レポート、判例等を検索・閲覧できるサービス

<sup>11</sup> 利用者からの情報の要求に対して、その分野の専門家や専門機関に照会して情報を入手・提供する、またはそうした専門家や専門機関を紹介するサービス

うな資料・情報を提供します。

- ティーンズ世代に対しては、友人同士など同世代だけで利用できる空間や、この世代から関心が高いと考えられる資料を提供します。
- 高齢者・障がい者・外国人等の図書館利用について困難さを抱える方には、個々の状況に応じて利用可能な資料やそれぞれのニーズを踏まえたサービスを展開します。

#### 想定するサービス例

- 調べ学習に活用できる児童向けの図鑑や事典類の充実
- 家庭での読み聞かせに対応する絵本や紙芝居の充実
- 保護者の悩みに応じた育児本や支援制度等を紹介するコーナーの設置
- 大人の趣味や生きがいづくりに関する情報提供や講座等の実施
- 仕事、健康、お金といった成年層の関心の高いテーマの講座や相談会等の開催
- ティーンズ世代の関心の高いアート・音楽・ファッション・進路関連等の資料・情報の提供
- SNS を通じた、資料の活用や新たな学び等のきっかけとなるような情報の発信
- 郵送貸出サービスの対象拡大や公民館等身近な公共施設等での貸出・返却サービス提供の検討
- 大活字資料、録音図書、外国語図書、電子書籍や拡大読書機等の提供
- 多言語対応の案内等の充実

## (2) 市内の読書推進活動や学びを支えるネットワークを広げる

### 1) ネットワークの拠点として地域館や関係各機関と連携したサービスの充実

- 身近な情報拠点である地域館や移動図書館車と密接に連携し、資料・情報・人材等の各面で支援します。
- 幼稚園や保育所等と連携して子どもの読書習慣の確立に向けた働きかけを行うとともに、学校における学習支援や読書活動推進に対する支援をさらに充実させます。
- 阿南高専や市科学センター、市の各担当課や商工会議所等、多様な主体との連携を強化します。

#### 想定するサービス例

- 地域館等との間での連携企画の充実や、十分な回数の巡回便の運行
- 幼稚園・保育所や小・中学校と連携した図書館利用体験ツアーの実施
- 市科学センターと連携した講座の開催や展示等の実施、センターへの関連資料の貸出
- 阿南高専等の学生をファシリテーター<sup>12</sup>としての体験型ワークショップの開催



<sup>12</sup> 参加者の意見を引き出しながら会議の円滑な進行を促す進行役

## 2) 図書館サービスネットワークを通じたまち全体の読書・学習環境の向上

- 学校・公民館等の図書サービスを実施する施設や市内の読書グループ、読み聞かせボランティア団体といった多様な主体との関係づくりを進め、資料面だけでなく、互いの持つ情報や課題を共有しあうネットワークを形成することで、まち全体の読書推進や学習環境の向上に資するしくみづくりや人材育成を推進します。

### 想定するサービス例

- 読み聞かせボランティアの育成・支援のための研修や情報提供の実施
- 学校図書館サポーターへの情報提供やレファレンス支援の実施
- 定期的な会合や合同研修の実施等による、多様な主体との課題や情報の共有
- 日常的な相談受付や情報共有等の手段としての専用 SNS やメーリングリスト等の構築

## (3) 市民の多様な利用ニーズに応える場を提供する

### 1) 多様な利用に応じた空間の確保

- 利用者がニーズに応じて心地よく時間を過ごすことができるさまざまな閲覧席や、個人でもグループでも利用できる学習席を提供します。
- 静かに集中したい利用者や子連れで気兼ねせず利用したい保護者、友人とグループで利用したい学生等、多様な利用者が共存できる空間を提供します。
- 個人による資料の貸出・閲覧のみならず、それらを活用した多様な活動のためのスペースを提供します。



### 想定するサービス例

- 読書に集中できるキャレル席(個人用閲覧席)やリラックスできるソファ席の提供
- 静寂な空間と適度にぎわいのある空間等、適切な音のゾーニングがされた利用空間の提供
- 授乳室やベビーベッド、靴を脱いで絵本の読み聞かせが可能な空間等の提供
- 講演会・ワークショップ等多用途に利用できるスペースやグループ学習席の提供

### 2) 魅力的な開架空間の構築

- 利用者が自ら多様な資料に直接触れ、知の世界の広がりを感じることができる場を形成します。
- 利用者の興味関心をひき、多くの資料に自然と手が伸びるような魅力的な配架や、子どもの好奇心をくすぐる児童開架スペースを提供します。

#### 想定するサービス例

- 利用者自身が自由に手に取って選ぶことができる十分な量の開架資料の提供
- 時々の話題を取り上げた特集コーナーの設置や、市民の手によるおすすめ本の POP<sup>13</sup>等の配置
- 子どもが親しみを感じられる色使いの家具・書架等や、秘密基地的なスペースの設置

### 3) ICT の活用による利便性向上とデジタル情報へのアクセスや新たな価値創造の支援

- IC タグシステムの導入により、手軽で迅速、かつプライバシーを確保しながら資料が利用できる環境を提供します。
- 利用者による知的な活動を支援するため、予約可能な閲覧席やインターネット接続、電源、利用者用端末等を提供します。
- デジタルな情報源へのアクセスを提供するとともに、ICT やデジタル情報を活用するための市民のリテラシー<sup>14</sup>向上についても取り組みます。



#### 想定するサービス例

- 自動貸出機や IC 予約棚等によるセルフサービス環境の提供
- 予約図書自動受取機等による閉館時に館外で図書を受け取れるサービスの提供
- インターネットから予約可能な閲覧席や、無料で施設内どこでも利用できるインターネット環境の提供
- 有料オンラインデータベースへのアクセスの提供
- 阿南高専等との連携による ICT リテラシーや機器活用に関する講座の開催

## (4) 出会い・交流・創造の場となりまちの魅力づくりに貢献する

### 1) 新たな発見や出会いの場の創出

- 多くの人を訪れる場となることを目指し、図書館資料の活用やさまざまな主体との連携により魅力的な展示やイベントを実施します。
- 市民や市内のさまざまなプレーヤーと協働し、それぞれの知見や取組み等を発信・共有するとともに、利用者がそうした人々や、あるいは同じような疑問や悩みを抱えている人々と出会い、新たな関係性や取組み等が生まれる場を創出します。
- 市民がさまざまな目的に利用できる空間を提供するとともに、市民発案の企画等が実現できる仕組みづくりを進め、市民の主体的な活動や交流の創出を促します。

<sup>13</sup> Point Of Purchase advertising(購買時点広告)の略。元々は商店等の販促用広告物等を指すが、図書館においては、主に短い書評や紹介文等を記載した図書の利用促進のための展示物を指す

<sup>14</sup> 元は適切に読み書きができる能力を指すが、現代ではそこから転じて、各分野において情報等を適切に読み取り、分析し、活用できるような能力を指す

### 想定するサービス例

- 閉館時間帯も活用したトークイベントや、夜間読書会等の開催
- まちゼミ等とも連携した、店主を講師とした講座や展示企画の実施
- 市民参加によるビブリオバトル<sup>15</sup>等、市民同士の交流機会や活動紹介の場の提供
- スペースや資料の提供・専門家等の紹介による市民主催企画の開催支援

## 2) 阿南らしさの溢れる場の構築

- 豊かで美しい景観や自然環境、歴史の中で培われた文化的資源、日本有数の企業が立地する沿岸部工業団地等の産業、活発な市民活動といった、市が持つ多彩な魅力に関する情報を収集・発信するとともに、こうした市の資産に関わる活動を担う多様な主体と連携し、阿南の魅力をさらに高める取組みを推進します。

### 想定するサービス例

- 自然環境や歴史、SUP<sup>16</sup>、「光のまち」等の関連情報を集めた阿南特集コーナーの設置や、郷土資料および郷土に関する博物的資料等に日常的に触れることのできる場の提供
- 県の学術施設や南阿波定住圏内の図書館等と連携した文化財資料の特集展示
- 市民協働による古文書・地域資料の翻刻・翻訳イベント等の実施
- 市民や地域のボランティア等の活動を発信するコーナーの設置や、地域おこし協力隊等と連携したイベントの開催

※「想定するサービス例」は、新図書館の開館時から実施する取組みだけでなく、将来的にサービス展開を目指す内容も含んでいます。

<sup>15</sup> 参加発表者が面白いと思った本を持ち寄り、順番にその本を紹介し、どの本が一番読みたくなったかを参加者どうしの投票で決める「書評合戦」イベント

<sup>16</sup> スタンドアップパドルボード（Stand Up Paddleboard）の略。ボードの上に立ち、1本のパドルを左右に漕ぐことで海や川辺などの水面を進むマリンスポーツ

## サービス計画の実現に向けた運営体制づくり

サービス計画の実現に向けて、市の図書館サービスネットワークの中核拠点として高度で専門的な役割を果たすための管理運営体制の確立を目指して、次のような取組みを進めます。

### 1) 各サービス等に精通した人材の確保

- 司書資格保有者を中心に、各サービスに精通した職員を確保し適切に配置するとともに、職員の知識・技術・資質の向上を目的とした研修等を継続的に実施することにより、高度かつ専門的な能力を持つ職員の育成を図ります。
- 市民の生涯にわたる学びや地域の活動等の支援や、新たな発見・出会いが生まれる場づくりを進めるため、従来の図書館業務の枠組みにとどまらない幅広い知見や経験を有する職員の育成を長期的な視点のもとで進めます。
- ICTの活用やSNSを通じた情報発信等、時代に応じたサービスを提供するため、その環境整備や運用に知見をもつ職員の育成を進めるとともに、そうしたノウハウを有する市の各担当課や市内のプレーヤーとの連携を強化します。

### 2) 図書館サービスネットワークの連携強化

- 市内全域におけるサービス向上を目指し、図書館職員の情報共有、サービス推進のための市立図書館全体での職員研修等の実施や流動的な人員配置等を検討します。
- 各館間・サービスポイントへの回送便の十分な運行回数の確保、レファレンスに関する支援等、新図書館が中央館として資料面等でネットワークを支えることのできる体制を構築します。

### 3) 市民協働の推進

- サービスの向上や運営の効率化を図るだけでなく、市民が自らの学びを地域課題の解決や豊かなまちづくりへとつなげていく観点からも、図書館運営における市民と行政の協働を推進し、図書館ボランティアの養成や組織化、市内プレーヤーとの連携を通じて市民が主導する企画の実現等に向けた体制づくりを積極的に行います。



## 2 資料収集計画

### (1) 重点的に収集する資料

新図書館では、「阿南市立図書館 資料収集方針」に基づきながら、中央図書館として各分野の資料を幅広く収集するとともに、対象別サービスの充実につながる資料や阿南らしさの醸成につながる資料等、サービス計画の実現に資する資料を収集します。新図書館が特に重点的に収集する資料は、以下に示すとおりです。

#### 1) 一般書

成年層や子育て世代等を今後の重点的なサービス対象とすることを踏まえ、仕事や暮らし、子育て、教育といった分野に関する資料を充実します。

また、産業のまちという市の特性や、科学技術や情報技術の重要性が今後ますます高まっていくことが想定されることから、こうした分野の資料について、新鮮な状態を保ちながら充実することを目指します。

#### 2) 児童書

子どもの好奇心や想像力を育み、心の成長や学習、読書習慣の形成に役立つ資料を収集します。子どもの読書活動を推進し、児童サービスをさらに充実させるため、十分な量・水準を確保します。



#### 3) ティーンズ資料

心の成長や学習に役立つ資料や、アート・音楽・進路関連等、ティーンズ世代の関心の高い資料を充実するほか、マンガやライトノベル、サブカルチャー等の分野についても、資料収集方針の選定基準に照らしながら充実を図ります。

#### 4) 参考資料

辞書、事典、年鑑等を幅広い分野にわたり収集し、適切に更新します。また、ニーズ等を踏まえながら、仕事や暮らしに役立つ利用者向けオンラインデータベース等も活用します。

#### 5) 郷土資料

本市に関する資料を可能なかぎり広く収集するとともに、市内の文化財関係資料や南阿波定住圏域に関する資料、SUP や LED といった本市らしさに関する資料を優先的に収集します。また、市場流通資料にかぎらず、市民の活動やその成果に関わる資料を積極的に収集します。

#### 6) 視聴覚資料

将来的なニーズ等を見据えながら、図書館向け配信サービスの活用等も視野に入れつつ収集します。

#### 7) 電子書籍

図書資料の収集方針に準じるほか、特に高齢者や子ども、遠方在住者、障がい者といった来館利用に困難を抱える利用層等に対する重要なサービス提供手段として、こうした市民のニーズが高い分野の資料を重点的に収集します。また、児童の読書を推進する資料についても積極的に収集します。

## (2) 蔵書規模目標等

新図書館の蔵書規模(図書収容能力)の計画値は、中央図書館として将来にわたる十分な規模の資料保存能力を期待されていること、現在収容能力を大きく超過している那賀川図書館および羽ノ浦図書館の蔵書のうち一定数を引き受ける必要があること、そして人口同規模(6～8万人)自治体において、中心市街地に近年整備された類似事例の水準等を踏まえ、**約 30 万冊**を目指すものとします。

表 3-1 人口同規模(6～8万人)自治体における類似事例の水準

事例	竣工年月	収容能力 (万冊)	市内館数※ (館)
行橋市図書館(福岡県)	2020年4月	30	2
名取市図書館(宮城県)	2018年10月	30	2
みよし市立中央図書館(愛知県)	2016年3月	32	1
多賀城市立図書館(宮城県)	2016年1月	35	3

※ 分室等のアクセスポイントは除く

また、児童書率は、現市立図書館各館や人口同規模自治体の水準を踏まえ約 30%、開架率は、人口同規模自治体の水準を踏まえ 50～60%程度とします。

表 3-2 新図書館の図書収容能力および児童書率

項目	新図書館の 想定値	【参考】人口同規模(6～8万人)自治体		備考
		① 中央館平均 n=107館	② ①のうち過去10年 以内の新設館のみ n=15館	
図書収容能力(万冊) ※ 開架・閉架書庫の合計	30	18.1	25.7	
児童書率 ※ 蔵書全体に占める児童書の割合	30% (一般:児童=7:3)	28.4%	27.9%	現市立図書館は各館 30%程度

表 3-3 新図書館の開架率

項目	新図書館の 想定値	【参考】人口同規模(6～8万人)自治体		備考
		① 中央館平均 n=103館	② ①のうち過去10年 以内の新設館のみ n=15館	
開架率 ※ 蔵書全体に占める開架図書の割合	50～60%	59.4%	62.6%	②では閉架書庫にまだ 余裕がある館が多いこ とも考慮

### 3 施設整備計画

#### (1) 基本方針

第3章1に示したサービス計画の実現に向け、新図書館の施設整備にあたっては、次に示す観点に留意するものとします。

##### 1) 市民の多様な利用に資する施設づくり

さまざまな人々による幅広い利用に対応するため、利用しやすく利用者の興味を喚起するような魅力ある書架を配置するとともに、読書に集中できる個人用閲覧席、リラックスできるソファ席、ブラウジング時のちょっとした利用に役立つツール等、多様な座席等を確保し、Wi-Fi や電源等の設備を利用者の利便性を考慮しながら配置します。また、利用者がそのニーズに応じて静粛で集中した利用とにぎやかで気兼ねない利用のどちらも可能となるよう、施設全体で音のゾーニングを設定します。

さらに、子どもから高齢者、障がい者、外国人等を含むすべての市民が快適に利用できるよう、施設全体でユニバーサルデザインへの取組みを重視するとともに、子連れ等でも利用しやすいゆとりのある駐車場や雨天時にも濡れずにアクセスできるアプローチの整備等、利用者の立ち寄りやすさや利用のしやすさにも配慮します。

##### 2) 市民の居場所としての居心地のよく「阿南らしい」施設づくり

市民アンケートや市民ワークショップ等でも特に強いニーズが示された「居心地のよい居場所」づくりのため、長時間の滞在利用においても快適さを感じられるような、さまざまな方がゆったりと座れる座席数の確保や心地よく過ごせる光熱環境の整備を行う他、施設内での飲食可能なスペースの確保についても検討します。

また、開架はまとまりのある広々とした空間を確保し、使いやすく、かつ明るさや開放感を感じられる場とするとともに、市民どうしが互いの活動を自然と目にするのができ、活発さや出会いの可能性を感じられるような空間構成とすることを目指します。

施設の意匠や設備等には竹材や LED といった本市特有の資源の活用も視野に入れる等、阿南らしさが感じられる施設となるよう留意します。

##### 3) 機能性・効率性を備えた施設づくり

利用者動線と管理者動線との明確な区分やスムーズな動線の確保、諸室の配置上の工夫やサインの設置等を通じて、市民にとって利用しやすくわかりやすい施設となるよう配慮します。管理者動線はカウンター・事務室・書庫等の相互のアクセス性を確保するとともに、施設全体の動線を IC タグシステムの導入を前提として検討し、効率的でスピーディなサービス提供が可能となるよう努めます。

また、複合施設内に配置されることを踏まえ、他機能との一体性を図りつつも、機能ごとの開館時間の差や随時のイベント開催等を考慮し、必要に応じて施設空間を区切れるようにすることを検討します。

##### 4) 安心安全かつ将来にわたる利用に対応可能な施設づくり

さまざまな人々が訪れる施設であることから、利用者が安心して利用できるよう、明るく死角の少ないセキュリティに留意した空間とします。また、災害時にわかりやすい避難動線を確保するとともに、地震や水害といった自然災害に対する人命や資料の保護についてもじゅうぶんに配

慮します。

市民に長く愛され利用される施設とするため、将来的な市民ニーズや情報技術の変化にも対応可能な空間構成とするとともに、将来にわたり十分な資料を保存していくための機能についても充実を目指します。

## (2) 必要諸室および面積の設定等

第3章2(2)蔵書規模目標等を踏まえて新図書館の一般・児童の開架スペースおよび閉架書庫の面積を試算すると、開架率が50%の場合と60%の場合で、それぞれ表3-4のとおりとなります。

表 3-4 開架・閉架面積

区分		冊数 (冊)	摘要	必要面積 (㎡)
開架率50%(15万冊) の場合	開架スペース※	一般	105,000	105,000 (冊) / 80 (冊/㎡) ≒ 1,320
		児童	45,000	45,000 (冊) / 100 (冊/㎡) ≒ 450
	閉架	150,000	150,000 (冊) / 500 (冊/㎡) ≒ 300	300
開架率60%(18万冊) の場合	開架スペース※	一般	126,000	126,000 (冊) / 80 (冊/㎡) ≒ 1,580
		児童	54,000	54,000 (冊) / 100 (冊/㎡) ≒ 540
	閉架	120,000	120,000 (冊) / 500 (冊/㎡) ≒ 240	240

※ 開架スペースには通路、閲覧席を含む

さらに、第3章1サービス計画で想定するサービスを提供するために必要な主な諸室等の面積を想定すると、整備を予定する複合施設における図書館専有部の必要面積は、表3-5および表3-6に示すとおり、2,700～3,000㎡程度となります。

また、その他の機能との共有部(エントランスロビー、情報スペース、廊下、階段、機械室、トイレ等)の必要面積は、現時点では900～1,000㎡程度を想定し、複合施設に導入する他機能の規模を踏まえて再検討します。

表 3-5 図書館専有部の必要空間・規模(開架率50%の場合)

区分	部門	ゾーン	摘要	面積(㎡)		
				ゾーン	部門	小区分
利用者	開架	一般開架スペース	一般資料、参考資料、郷土資料、ティーンズ、子育て支援等の各コーナー	1,320	1,935	2,155
		一般開架その他	新聞・雑誌コーナー、利用活動支援室(対面朗読等)、サービスカウンター、予約資料コーナー(ICタグによるセルフ受取)	105		
		児童開架スペース	児童書、絵本等	450		
		児童開架その他	おはなし室、児童カウンター	60		
	集会・学習	フリースペース、学習室(予約制)、インターネット利用席	220			
管理	事務・管理	事務作業室、会議室、休憩室、更衣室、倉庫	280		580	
	保存	閉架書庫	300			
計						2,735 ≒ 2,700

表 3-6 図書館専有部の必要空間・規模(開架率 60%の場合)

区分	部門	ゾーン	摘要	面積(m <sup>2</sup> )		
				ゾーン	部門	小区分
利用者	開架	一般開架スペース	一般資料、参考資料、郷土資料、ティーンズ、子育て支援等の各コーナー	1,580	2,285	2,505
		一般開架その他	新聞・雑誌コーナー、利用活動支援室(対面朗読等)、サービスカウンター、予約資料コーナー(ICタグによるセルフ受取)	105		
		児童開架スペース	児童書、絵本等	540		
		児童開架その他	おはなし室、児童カウンター	60		
	集会・学習	フリースペース、学習室(予約制)、インターネット利用席		220		
管理	事務・管理	事務作業室、会議室、休憩室、更衣室、倉庫		280	520	
	保存	閉架書庫		240		
計					3,025	≒ 3,000

なお、閲覧席は、市民のさまざまなニーズに対応した多様な座席を揃えることや、市民にとって居心地の良い居場所づくりを行うことを踏まえ、施設全体で 200 席以上を確保します。

また、市民意向の聴取結果では、図書館の従来機能の充実に加えて、一日中図書館で過ごせるような滞在環境や、幅広い市民活動および市民どうしの交流、創造的活動等に資する場の充実が求められていることが示されています。こうした意向に応える諸室機能としては、表 3-7 に示す内容を想定し、今後、新図書館複合施設全体の機能配置等を検討する中で導入可否や配置等を検討します。うち、スタジオ等については、導入する場合も、市の駅周辺まちづくりにおける整備方針と歩調を合わせて余白を持たせた整備を行い、その具体的機能は、市民の意向も踏まえながら段階的に充実するものとします。

表 3-7 新図書館複合施設内に導入を検討する諸室案と背景となる市民意見

利用形態	市民意向	背景となる具体的な市民意見 (市民アンケート、市民ワークショップ等の結果より)	導入諸室案
個人利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人で使える静かな環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かな集中できる空間で読書、学習したい</li> <li>予約制の学習室がほしい</li> <li>ビジネスに関する調査研究を行いたい</li> <li>PCなどを持ち込んで作業したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ブース</li> <li>コワーキングスペース</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワークやWeb会議をしたい</li> </ul>	
グループ利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人との交流の場</li> <li>グループ活動の場</li> <li>創作活動の場</li> <li>活動の成果の発表の場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味の仲間やグループで交流したい、一緒に活動したい</li> <li>ボランティアの活動や研修を行いたい</li> <li>市民主催企画の準備等の場がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動室</li> <li>グループ活動室</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>講座・研修を受講したい</li> <li>音楽やダンスなどの活動をしたい</li> <li>創作活動をしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジオ</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の活動の成果を発表したい</li> <li>知識や知見を他の市民と共有したい</li> <li>市民の創作物や地元に関する展示物をみたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報スペース</li> <li>ギャラリー</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・友人と気兼ねなく過ごす場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気兼ねなく飲食や会話したい</li> <li>友人と過ごしたい</li> <li>子育て世代どうして集いたい</li> <li>丸1日図書館で過ごしたい</li> <li>読書の合間に気分転換したい、少し体を動かしたい</li> <li>ほっとする場所がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェスペース</li> <li>広場</li> </ul>

### (3) 諸室の配置の考え方

(1)基本方針で示した考え方のほか、エントランスやフリースペース等は、にぎわい創出の中心的な役割を果たす場として、ゆるやかにつながり、必要に応じた柔軟な活用ができる空間となるよう留意します。

また、今後駅周辺エリア全体で機能配置等の検討を進める中で、新図書館複合施設に導入する諸室機能の配置等については、音のゾーニングに留意するほか、図書館の各種コーナーや他の諸室とのあいだの機能的な連関性や利用者層の重なり具合等にも配慮しながら、基本理念に示した「読書や学習だけでなく、さまざまな活動やチャレンジしようとする多様な人々が集まり交流する」場づくり等、本計画が目指す新図書館のすがたの実現に資するよう留意します。

さらに、整備予定地において隣接するひまわり会館とは一体的な複合拠点として、諸室の相互利用等、効率的な施設運営に向けた取組みを進めます。

# 巻末資料

## 1 阿南市立新図書館基本計画検討会議開催要綱

(趣旨)

第1条 阿南市立新図書館基本計画の策定に当たり、広く市民等から意見を聴取し、その内容を検討するため、阿南市立新図書館基本計画検討会議（以下「検討会議」という。）の開催に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、「新図書館」とは、阿南駅周辺のまちづくりにおいて整備する新しい図書館施設をいう。

(所掌事務)

第3条 検討会議の構成員は、次に掲げる事項について検討し、意見を述べる。

- (1) 新図書館基本計画の内容に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、阿南市立新図書館に関し必要と認められる事項

(組織)

第4条 検討会議は、構成員10人以内をもって組織する。

2 構成員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が依頼する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市内の各種団体に属する者
- (3) 前2号に定めるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(座長及び副座長)

第5条 検討会議に座長及び副座長を置く。

2 座長は、構成員の互選によってこれを選任し、副座長は、構成員の中から座長が指名する。

3 座長は、検討会議を進行し、副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、検討会議の進行を代理する。

(会議)

第6条 検討会議は、教育長が招集する。

2 検討会議において、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求め、関係事項について説明又は意見を聴くことができる。

3 検討会議は、公開とする。ただし、阿南市情報公開条例（平成12年阿南市条例第37号）第7条各号に該当すると認められる情報を含む事項については、この限りでない。

(秘密の保持)

第7条 構成員は検討会議上知り得た秘密を漏らしてはならない。構成員を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第8条 検討会議の庶務は、教育委員会教育部阿南市立那賀川図書館において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の開催に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年9月30日から施行する。

## 2 阿南市立新図書館基本計画検討会議 構成員名簿

(50音順・敬称略) ◎座長 ○副座長

	役職	氏名	所属等
1		市瀬 佐代	中学校校長会 福井中学校長
2	◎	稲村 健一	前阿南市教育長
3	○	小西 嘉代子	阿南市立図書館協議会副会長 おはなしのポケット代表
4		中井 孝幸	愛知工業大学工学部建築学科 教授
5		野村 千寿子	阿南商工会議所
6		羽尻 利門	絵本作家
7		濱田 英美	(株)Miraicle 子育て支援スペース Nuun
8		平田 辰徳	株式会社ライフシンク 株式会社日和ファーム
9		藤居 岳人	阿南工業高等専門学校 図書館長
10		藤井 幸	デジタル支援員

※ 所属は令和4年10月28日開催の第1回阿南市立新図書館基本計画検討会議 時点

### 3 策定経緯

時期	内容
昭和56年 7月	● 阿南市立図書館開館
平成 6年 7月	● 那賀川町立図書館開館
平成 7年 7月	● 羽ノ浦町立図書館開館
平成18年 3月	● 市町村合併により、阿南市立阿南図書館・阿南市立那賀川図書館・阿南市立羽ノ浦図書館に改称
平成20年 3月	● 3館の図書館システムを統合し、新システムによるサービス開始 貸出規則の統一、公用車による3館回送の開始等により、市立図書館の一体的な運営が本格化
令和 3年 4月	● 阿南市立阿南図書館の一般利用休止 ● 市役所2階市民交流ロビー内に阿南市立図書館カウンター開設
令和 4年 3月	● 「阿南駅周辺まちづくりビジョン」策定 駅周辺のまちづくりにおいて、コアターゲットの設定とともに、図書館が導入機能(案)のうちコア機能として挙げられる
5月	● 図書館フォーラム「阿南市の新しい図書館の姿について考える」開催 講 師:中井孝幸氏(愛知工業大学工学部建築学科教授)
10月	● 第1回阿南市立新図書館基本計画検討会議開催
11月	● 第1回阿南市立図書館市民ワークショップ開催
12月	● 第2回阿南市立新図書館基本計画検討会議開催 ● 高専生ワークショップ開催
令和 5年 1月	● 第2回阿南市立図書館市民ワークショップ開催
2月	● 第3回阿南市立新図書館基本計画検討会議開催
2~3月	● 阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート実施
3月	● 第3回阿南市立図書館市民ワークショップ開催
6月	● 第4回阿南市立新図書館基本計画検討会議開催
7月	● 第5回阿南市立新図書館基本計画検討会議開催
8月	● 「阿南駅周辺まちづくり基本計画(素案)」および「阿南市立新図書館基本計画(案)」に対するパブリックコメント実施
10月	● 「阿南駅周辺まちづくり基本計画」および「阿南市立新図書館基本計画」策定